

伝送システム仕様書

インターネット編

令和3年4月

<<目次>>

1. はじめに.....	1
2. 伝送請求 API ライブラリ概要.....	2
2. 1 電子証明書の必要性.....	2
2. 2 伝送請求 API ライブラリの提供.....	2
2. 3 システム全体構成.....	2
2. 4 使用方法.....	2
3. 伝送請求 API ライブラリ呼び出しインタフェース.....	3
3. 1 インタフェース一覧.....	3
3. 2 呼出手順.....	4
3. 3 共通処理.....	6
3. 3. 1 処理概要.....	6
3. 3. 2 セッション管理.....	9
3. 4 インタフェース詳細.....	14
3. 4. 1 送信関連.....	14
3. 4. 1. 1 署名送信.....	15
3. 4. 1. 2 署名送信取消.....	21
3. 4. 1. 3 署名送信ステータス取得.....	22
3. 4. 1. 4 署名送信点検結果取得.....	27
3. 4. 1. 5 署名送信取消結果取得.....	29
3. 4. 2 通知文書関連.....	31
3. 4. 2. 1 通知文書一覧取得.....	31
3. 4. 2. 2 通知文書ファイルダウンロード.....	33
3. 4. 3 お知らせ関連.....	34
3. 4. 3. 1 お知らせ一覧取得.....	35
3. 4. 3. 2 お知らせ既読情報更新.....	38
3. 4. 3. 3 お知らせ添付ファイルダウンロード.....	39
3. 4. 4 マニュアル関連.....	40
3. 4. 4. 1 マニュアル一覧取得.....	40
3. 4. 4. 2 マニュアルファイルダウンロード.....	41
3. 4. 5 その他.....	42
3. 4. 5. 1 復号.....	42
4. 制限事項.....	44
4. 1 使用上の制限.....	44

付録

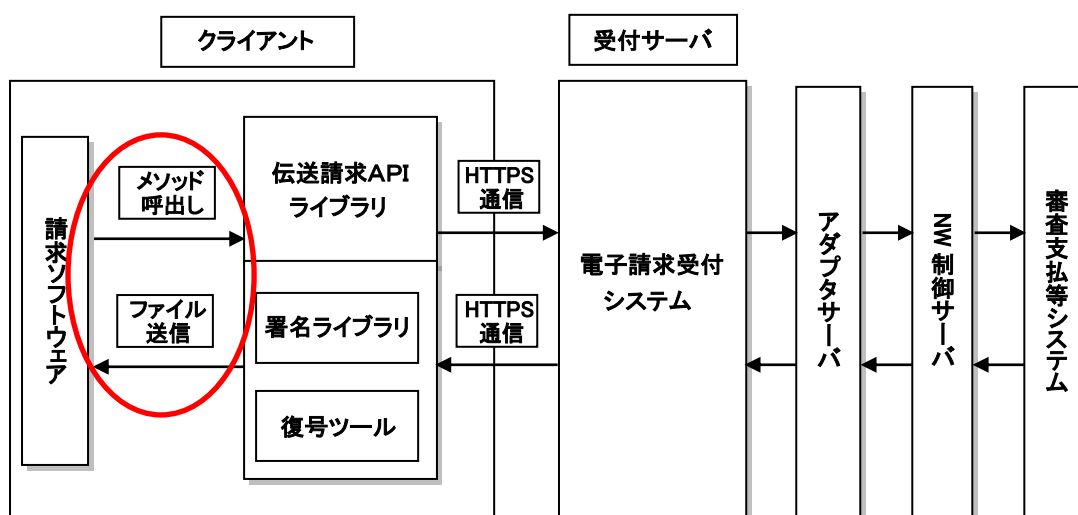
付録. a	エラーメッセージ一覧.....	4 6
付録. b	ファイル仕様.....	6 6
付録. c	IF 種別コード一覧.....	6 9
付録. d	拡張ファイル.....	7 0
付録. e	ファイル階層図.....	7 2
付録. f	伝送システムのエラーコード一覧.....	7 3
付録. g	外部接続システムのエラーコード一覧.....	7 6
付録. h	拡張情報ファイルの返却例.....	7 9
付録. i	拡張情報ファイルのデータ定義例.....	8 1
付録. j	サイレントモード.....	8 2

1. はじめに

インターネットによる伝送請求は、クライアントから電子証明書により電子署名された請求情報を受付サーバ経由で国保連合会へ送信する。また、国保連合会から受付サーバ経由で取得する通知文書情報等は、電子証明書を所有するクライアントのみが受領できるよう暗号化され、電子証明書を所有するクライアントのみが復号できる。

上記のセキュリティ対策について、技術的な事項を意識せずに統一的な実装ができるよう、インターネットによる伝送請求では「伝送請求 API ライブラリ」を提供する。本書では上記の「伝送請求 API ライブラリ」の呼び出し方法（下図の囲み部分）を中心に、インターネットによる伝送システム仕様を記述する。

なお、本書で云う「請求ソフトウェア」とは、「伝送請求 API」に引き渡す請求情報（「インタフェース仕様書」参照）を CSV ファイルとして作成するソフトウェアの総称とする。



2. 伝送請求 API ライブラリ概要

2. 1 電子証明書の必要性

インターネットによる伝送請求では、インセキュアな回線を使用するため、「なりすまし」や「改ざん」等のセキュリティ対策として、国民健康保険中央会が運営する専用認証局により発行された電子証明書を取得する必要がある。

電子証明書を取得することにより、事業所が介護給付費等のインターネット請求を行う際、保持する電子証明書により電子署名を行い、電子証明書を添付することで、その請求が真に名義人によってなされたものであることを証明することができる。

また、国保連合会から通知文書等を取得する際に、電子証明書を所有するクライアントのみが受領できるよう暗号化されているため、電子証明書を保持している事業所のみが復号することができる。

2. 2 伝送請求 API ライブラリの提供

伝送請求 API ライブラリ（署名ライブラリ/復号ツール含む）は、請求ソフトウェアが電子請求受付システムと通信する際に、PKI（公開鍵基盤）や暗号アルゴリズム等の技術的な事項を意識せずに実装できる部品である。

具体的には、通信処理や請求情報への電子署名、暗号化された通知文書を復号するための処理を共通部品として提供する。

なお、伝送請求 API ライブラリを使用する請求ソフトウェアは、「.Net Framework」を使用したクライアントシステムである必要がある。

2. 3 システム全体構成

介護保険のインターネット請求を行うためには、事業所が請求情報を作成する時に使用する「請求ソフトウェア」が必要となる。

また、事業所で作成した請求情報を電子請求受付システムへ送信する際や請求情報に電子証明書での署名を行う際、暗号化された通知文書等の復号を行うために「伝送請求 API ライブラリ」が必要となる。

2. 4 使用方法

伝送請求 API ライブラリは、事業所の PC にインストールされ、それを請求ソフトウェアが呼び出すことで利用できる形態とする。

3. 伝送請求 API ライブラリ呼び出しインタフェース

伝送請求 API ライブラリは、請求ソフトウェアと電子請求受付システムとの機能分類毎のインタフェースを用意しており、処理に応じた機能呼び出しして使用する。

3. 1 インタフェース一覧

呼び出されるインタフェースを以下に示す。

No	機能分類	機能名称	機能概要
1	送信関連	署名送信	請求情報等に署名し、電子請求受付システムへ送信する。
2		署名送信取消	電子請求受付システムへ送信済みの請求情報等に対して、取消しを依頼する。
3		署名送信ステータス取得	電子請求受付システムから、請求情報等のステータスを取得する。
4		署名送信点検結果取得	電子請求受付システムから、請求情報等の点検結果を取得する。
5		署名送信取消結果取得	電子請求受付システムへ取消し依頼済みの請求情報等に対して、取消結果を取得する。
6	通知文書関連	通知文書一覧取得	電子請求受付システムから、通知文書情報の一覧を取得する。
7		通知文書ファイルダウンロード	電子請求受付システムから、通知文書ファイルを取得する。
8	お知らせ関連	お知らせ一覧取得	電子請求受付システムから、お知らせ情報の一覧を取得する。
9		お知らせ既読情報更新	電子請求受付システムのお知らせ情報を既読にする。
10		お知らせ添付ファイルダウンロード	電子請求受付システムから、お知らせに添付されたファイルを取得する。
11	マニュアル関連	マニュアル一覧取得	電子請求受付システムから、マニュアル情報の一覧を取得する。
12		マニュアルファイルダウンロード	電子請求受付システムから、マニュアルファイルを取得する。
13	その他	復号	指定した暗号化ファイルを、指定したディレクトリへ復号する。

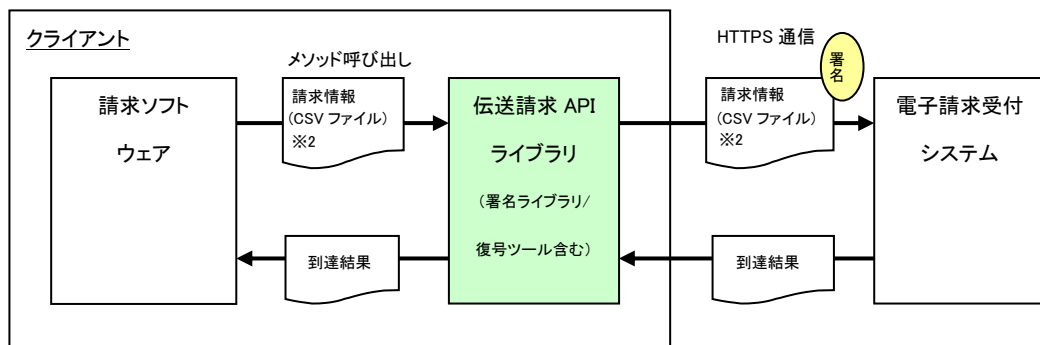
3. 2 呼出手順

請求ソフトウェアから呼び出された伝送請求 API ライブラリが、電子請求受付システムと連携する。

伝送請求 API ライブラリと電子請求受付システムの連携方法としては、大きく分けて2つの処理となるが、呼び出し元の請求ソフトウェアが伝送請求 API ライブラリを呼び出す方法としては、処理による差異はない。

- 電子請求受付システムに請求を行うための処理 (※1)

- (1) 請求ソフトウェアは、請求の対象となる請求情報等 (CSV ファイル) のパス情報を引き渡すと共に、伝送請求 API ライブラリを呼び出す。
- (2) 伝送請求 API ライブラリ (署名ライブラリ) は、引き渡された情報を使用して請求情報に電子署名を行い、電子請求受付システムに送信する。
- (3) 電子請求受付システムは、受信した請求情報のチェックを行い、到達結果を返却する。
- (4) 伝送請求 API ライブラリは、受信した到達結果を請求ソフトウェアへ返却する。

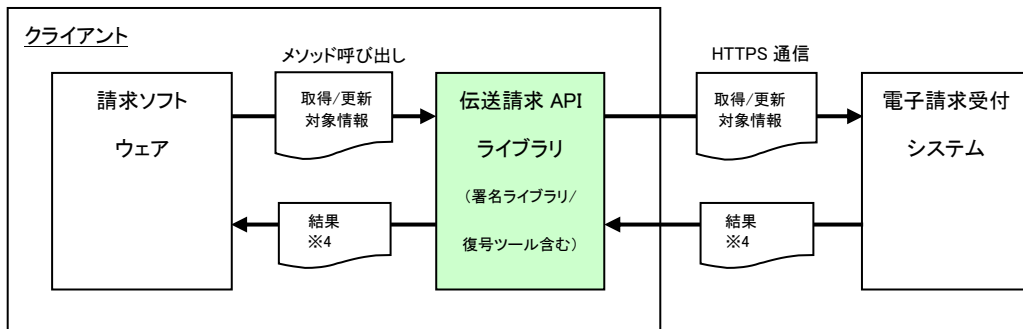


※1 当処理は、「3. 1 インタフェース一覧」のNo1に該当する。

※2 請求情報に関しては、「インタフェース仕様書」に準拠する。

● 電子請求受付システムから情報の取得/更新を行うための処理 (※3)

- (1) 請求ソフトウェアは、取得/更新対象の情報を引き渡すと共に、伝送請求 API ライブラリを呼び出す。
- (2) 伝送請求 API ライブラリは、引き渡された情報を、電子請求受付システムに送信する。
- (3) 電子請求受付システムは、受信した情報に応じた処理を行い、結果を返却する。
- (4) 伝送請求 API ライブラリは、受信した結果を請求ソフトウェアへ返却する。



※3 当処理は、「3. 1 インタフェース一覧」のNo2 から No12 に該当する。

※4 結果に関しては、「インタフェース仕様書」に準拠する。

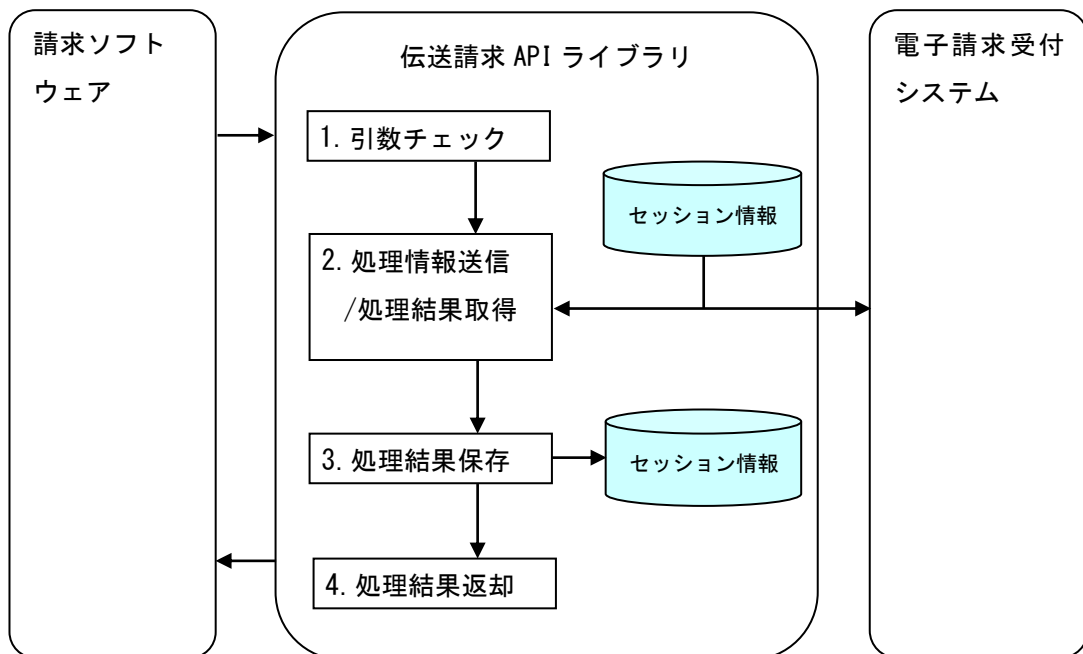
3. 3 共通処理

請求ソフトウェアから呼び出された伝送請求 API ライブラリでは、電子請求受付システムと連携する際に、共通的な処理を行う。

3. 3. 1 処理概要

電子請求受付システムと連携する際の流れと、4つの処理の概要を以下に示す。

<処理概要図>



(1)引数チェック

請求ソフトウェアから渡された各引数（※1）をチェックする。

各チェックでエラーとなった場合は、「(4) 処理結果返却」を行う。

項目名	詳細項目名	内容		メッセージ ID (※2)
必須チェック	必須項目チェック詳細	Nothing 及び空文字ではないこと。		S1DSM3001E
		条件付き必須の場合、条件を満たした場合に Nothing 及び空文字ではないこと。		S1DSM3002E
	件数チェック詳細	対象引数に格納されたデータが1件以上存在すること。		S1DSM3003E
形式チェック	桁数チェック詳細	最大桁数のみ指定されている場合、最大桁数以下であること。		S1DSM3004E
		最小桁数と最大桁数に同一桁数が指定されている場合、指定された桁数であること。		S1DSM3005E
形式チェック	属性チェック詳細	数字	すべての文字が半角数字であること。	S1DSM3006E
		英数字	すべての文字が半角数字または半角英字であること。	S1DSM3007E
		混在	すべての文字がShift_JISで表現できる文字であること。	S1DSM3008E
		日付	存在する日付であること。	S1DSM3009E

※1 引数については、「3. 4 インタフェース詳細」の各引数を参照。

※2 メッセージ ID/メッセージについては、「付録. a エラーメッセージ一覧」を参照。

(2) 処理情報送信／処理結果取得

引数に設定された値を使用して、電子請求受付システム用のリクエストパラメータを作成し、電子請求受付システムへ送信する。

電子請求受付システムへのログインが必要な処理の場合、伝送請求 API ライブラリのセッション情報から、呼び出し時に指定されたユーザ ID の有効なパスワードを取得して、併せて送信する。(※伝送請求 API ライブラリのセッション管理については、「3. 3. 2 セッション管理」にて記載する。)

電子請求受付システムから処理結果として、ファイルを受信する。

(3) 処理結果保存

電子請求受付システムから受信したファイルを解析して処理結果を判定する。

ログインが必要な処理が正常終了した場合、セッション情報を更新しセッションを有効化する。

(4) 処理結果返却

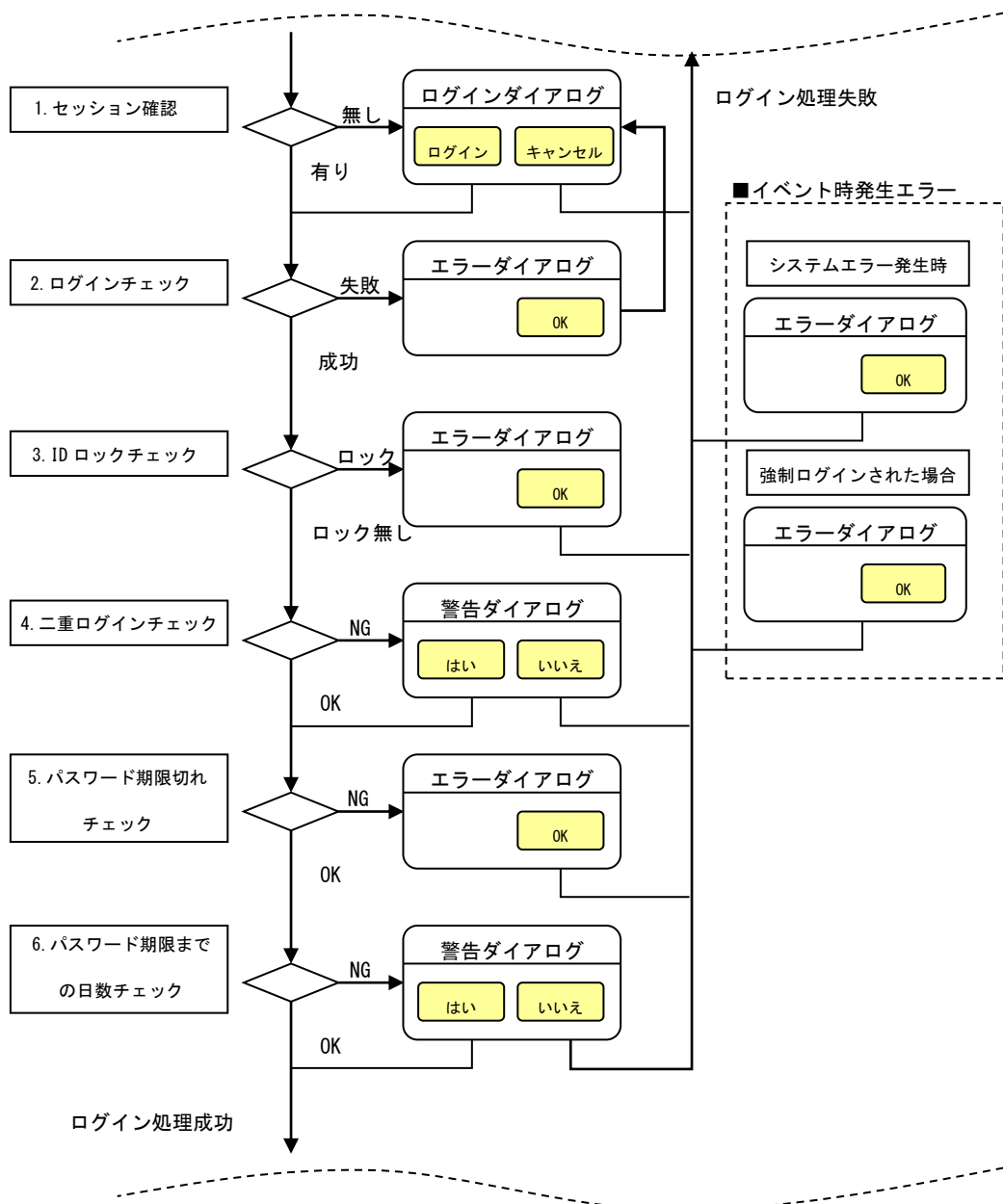
「(1) 引数チェック」においてエラーとなった場合は、該当するメッセージ ID/メッセージが設定されたエラー情報を、エラーとならなかった場合は電子請求受付システムから受信したファイルの解析結果を、請求ソフトウェアに返却する。

3. 3. 2 セッション管理

伝送請求 API ライブラリから電子請求受付システムへ通信を行う際には、一部の処理において、電子請求受付システムへのログイン処理が必要となる。そのため、伝送請求 API ライブラリにおいても、電子請求受付システムと同様のセッション管理を行い、ログインダイアログの制御を行う。

なお、セッション管理は伝送請求 API ライブラリで行うため、請求ソフトウェアはセッションを意識する必要はない。

(1) 通信時の共通画面遷移（認証処理時の画面遷移）



No	チェック	チェック内容	メッセージ ID (※1)
1	セッション確認	<p>伝送請求 API ライブラリで管理しているセッション情報を確認する。</p> <p>有効なセッション情報が存在している場合（前回ログイン時から 30 分以内）は、電子請求受付システムにアクセスする際に、セッション情報に保管されているパスワードを引き渡す。</p> <p>有効なセッション情報が存在しない場合（前回ログイン時から 30 分超過）は、ログインダイアログを表示する。</p>	-
2	ログインチェック	<p>電子請求受付システムにアクセスし、伝送請求 API ライブラリから引き渡されたユーザ ID/パスワードを使用してログイン処理を行う。</p> <p>ユーザ ID やパスワードに不備がある等でログイン処理に失敗した場合は、エラーダイアログを表示後、ログインダイアログを表示する。</p>	S1MNM0030E
3	ID ロックチェック	<p>電子請求受付システムにアクセスし、伝送請求 API ライブラリから引き渡されたユーザ ID がロックされていないことを確認する。</p> <p>ユーザ ID がロックされている場合は、エラーダイアログを表示する。</p> <p>※電子請求受付システムのログインを連続して 3 回以上失敗した場合にユーザ ID がロックされる。ロック後 30 分経過するとロックは自動的に解除される。</p>	S1MNM5C27E
4	二重ログインチェック	<p>電子請求受付システムにアクセスし、伝送請求 API ライブラリから引き渡されたユーザ ID で既にログインされていないことを確認する。</p> <p>既にログイン中の場合は、警告ダイアログを表示する。</p> <p>※表示された警告ダイアログにおいて「はい」ボタンを押下して処理を継続した場合、既にログイン中であったログインユーザはログアウトされる。</p>	S1MNM5C30W

No	チェック	チェック内容	メッセージ ID (※1)
5	パスワード期限切れチェック	電子請求受付システムにアクセスし、ログイン時に使用したパスワードの有効期限が切れていないことを確認する。 有効期限が切れている場合は、エラーダイアログを表示する。 ※パスワードの変更は、電子請求受付システムから行う必要がある。	S1MNM5C28E S1MNM4C72E
6	パスワード期限までの日数チェック	電子請求受付システムにアクセスし、ログイン時に使用したパスワードの有効期限までの日数を確認する。 有効期限まで 30 日を切った場合は、警告ダイアログを表示する。 ※パスワードの変更は、電子請求受付システムから行う必要がある。 ※表示された警告ダイアログにおいて「はい」ボタンを押下して処理を継続した場合、セッション情報の有効時間内は、警告ダイアログの再表示は行わない。	S1MNM5C29W S1MNM4C74W

※1 メッセージ ID/メッセージについては、「付録 a エラーメッセージ一覧」を参照。

(2) セッション管理機能

ログイン処理に成功した場合のログイン情報（ユーザ ID/パスワード）をセッション情報に保持し、以降のログイン処理ではセッション情報で自動的にログインする。

ログインチェック、ID ロックチェック、またはパスワード期限切れチェックでエラーとなった場合、もしくは二重ログインチェック、またはパスワード期限までの日数チェックにて表示される警告ダイアログの「いいえ」ボタンを押下した場合、ユーザ ID のセッション情報を削除する。

セッション情報の有効時間は、前回ログイン時から 30 分とし、30 分超過した場合は、セッション情報を破棄して再度ログインダイアログを表示する。

セッション情報はユーザ ID ごとに保持し、個別に有効時間の管理を行う。

(3) ログインダイアログ制御

ログインダイアログは、請求ソフトウェアから渡された引数とセッション情報の有無によって制御する。

<請求ソフトウェアから渡される引数>

名称	内容説明
ユーザ ID	ログインを行うユーザ ID を設定する。(※1)
ユーザ ID 編集不可フラグ	ユーザ ID を編集不可とする場合 True を設定する。 ユーザ ID に値が設定されていない場合は、フラグを無視して常に編集可能とする。

※1 ログイン ID の規則

事業所ユーザ

“KJ” + 請求先都道府県コード (2 桁) + 事業所番号 (10 桁)

代理人ユーザ

“HD” + 請求先都道府県コード (2 桁) + 連番 (8 桁)

<引数とセッション情報の有無によるログインダイアログの制御>

ユーザ ID	セッション情報	ユーザ ID 編集不可フラグ	ログインダイアログ動作 (※2)
無し	(確認不可能)	(無視)	ユーザ ID : 空白 / 編集可 パスワード : 空白 / 編集可
有り	無し	True	ユーザ ID : 引数のユーザ ID / 編集不可 パスワード : 空白 / 編集可
		False	ユーザ ID : 引数のユーザ ID / 編集可 パスワード : 空白 / 編集可
	有り	True	ログインダイアログは表示せずに、引数のユーザ ID とセッション情報に保存されたパスワードで自動ログインする。
		False	

※2 セッション情報が保存されていない場合、パスワードはセキュリティ上の制限として事業所に都度入力していただくこととなる。

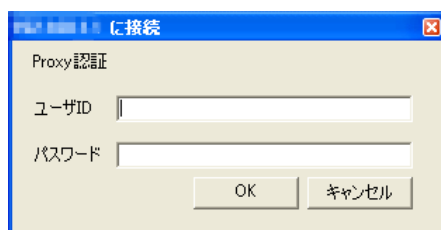
<ログイン処理に失敗した場合に再度表示されるログインダイアログの制御>

ユーザ ID	セッション情報	ユーザ ID 編集不可フラグ	ログインダイアログ動作
無し	(確認不可能)	(無視)	ユーザ ID : 前回入力したユーザ ID / 編集可 パスワード : 前回入力したパスワード / 編集可
有り	無し	True	ユーザ ID : 引数のユーザ ID / 編集不可 パスワード : 前回入力したパスワード / 編集可
		False	ユーザ ID : 引数のユーザ ID / 編集可 パスワード : 前回入力したパスワード / 編集可
	有り	True	ユーザ ID : 引数のユーザ ID / 編集不可 パスワード : セッションに保存されたパスワード / 編集可
		False	ユーザ ID : 引数のユーザ ID / 編集可 パスワード : セッションに保存されたパスワード / 編集可

(4) Proxy 認証

Proxy 認証が必要な事業所 PC から電子請求受付システムの通信が発生する際は、Proxy 認証ダイアログを表示する。

Proxy 認証情報はセッション管理対象外のため、電子請求受付システムへの通信時には認証ダイアログが毎回表示される。



3. 4 インタフェース詳細

3. 4. 1 送信関連

請求情報等の送信、送信した請求情報の取消、状況確認、点検結果の取得、取消結果の取得に関するインタフェースを以下に示す。

No	処理	ルート	処理内容
1	署名送信	請求ソフトウェア → 伝送請求 API ライブラリ	請求情報を送信依頼
		伝送請求 API ライブラリ → 請求ソフトウェア	請求情報チェックを行い、エラーとなった場合、エラーメッセージを返却、エラーとならなかった場合、電子請求受付システムの到達結果を返却
2	署名送信取消	請求ソフトウェア → 伝送請求 API ライブラリ	署名送信した情報の取消依頼
		伝送請求 API ライブラリ → 請求ソフトウェア	取消依頼の結果を返却
3	署名送信ステータス取得	請求ソフトウェア → 伝送請求 API ライブラリ	請求情報等のステータスの取得依頼
		伝送請求 API ライブラリ → 請求ソフトウェア	請求情報等のステータスを返却
4	署名送信点検結果取得	請求ソフトウェア → 伝送請求 API ライブラリ	請求情報等の点検結果の取得依頼
		伝送請求 API ライブラリ → 請求ソフトウェア	審査支払等システムから電子請求受付システムに連携されている場合に点検結果を返却

No	処理	ルート	処理内容
5	署名送信取消 結果取得	請求ソフトウェア → 伝送請求 API ライブラリ	取消依頼の処理結果の取得依頼
		伝送請求 API ライブラリ → 請求ソフトウェア	確定している取消結果を返却

3. 4. 1. 1 署名送信

引数に設定された情報を使用して、請求情報等ファイルを取得し、請求情報チェックを行う。

請求情報チェックにおいてエラーが発生しなかった場合は、請求情報等に署名し、電子請求受付システムへ送信する。

電子請求受付システムに到達した結果は、到達確認画面に表示される。(※1)

テスト請求を行う場合は、テスト請求用の請求情報等ファイル(※2)のパスを引数に設定する。

<引数>

No	項目名	型	属性	最小桁数	最大桁数	必須	内容
1	事業所番号	String	英数字	10	10	○	署名送信を行う事業所番号。
2	請求先都道府県番号	String	数字	2	2	○	事業所の請求先都道府県番号。
3	送信ファイルパス	String	混在	—	256	○	署名送信を行うファイルのフルパス。
4	ユーザ ID	String	英数字	—	14		電子請求受付システムにログインするユーザ ID。
5	ユーザ ID 編集不可フラグ	Boolean	—	—	—		ログインダイアログのユーザ ID 欄を編集不可とする場合は True。 (初期値は False)

<戻り値>

No	項目名	型	最小桁数	最大桁数	内容
1	返却情報	Class	—	—	
2	処理結果	Enum	—	—	1: 正常、2: エラー、3: キャンセル、4: 到達エラー。(※3)
3	メッセージ ID	String	—	10	処理結果がエラー、または到達エラーの場合、メッセージ ID。
4	メッセージ	String	—	512	処理結果がエラー、または到達エラーの場合、メッセージ。
5	到達番号	String	19	19	処理結果が正常、または到達エラーの場合、到達番号。
6	到達日時	DateTime	—	—	処理結果が正常、または到達エラーの場合、到達日時。
7	請求チェックエラー情報	Class	—	—	処理結果が請求情報チェックによるエラーの場合に設定。
8	ファイルパス	String	—	256	エラーが発生した送信ファイルパス。
9	行番号	Integer	—	5	エラーが発生したレコードの行番号。
10	列番号	Integer	—	5	エラーが発生した項目の列番号。

<請求情報チェック>

引数として渡された送信ファイルパスリストのパスから請求情報等ファイルを取得し、ファイル内のデータに対し、以下のチェックを行う。各チェックでエラーとなった場合は、戻り値に該当するメッセージ ID/メッセージが設定される。

No	項目名	検査種別	検査内容	メッセージ ID (※5)
1	ファイル形式	レコード数検査	請求情報のレコード数が 3 レコード以上存在すること。	S1DSM4001E
		レコード種別検査	先頭レコードの 1 列目が「1:コントロールレコード」であること。 中間レコード（先頭及び最終レコード以外）の 1 列目が、全て「2:データレコード」であること。 最終レコードの 1 列目が「3:エンドレコード」であること。	S1DSM4002E
2	コントロールレコード形式	レコード項目数検査	レコード項目数が 12 項目であること。	S1DSM4004E
3	コントロールレコード項目	必須項目検査	以下の値が空もしくは全角・半角スペースのみではないこと。 ・レコード種別、データ種別、事業所番号、処理対象年月	S1DSM4005E
		形式検査	以下の項目が、「YYYYMM」形式の存在する年月であること。 ・処理対象年月	S1DSM4006E
		データ種別検査	データ種別が、請求情報定義ファイル(※4)に定義された値であること。	S1DSM4010E
		事業所番号検査	引数の事業所番号と、コントロールレコードに設定された事業所番号が一致すること。	S1DSM4007E

No	項目名	検査種別	検査内容	メッセージ ID (※5)		
4	データレコード形式	交換情報識別番号検査	交換情報識別番号が、請求情報定義ファイル(※4)に定義された値であること。	S1DSM4003E S1DSM4005E S1DSM4011E		
		レコード項目数検査	レコード種別コードが、請求情報定義ファイル(※4)に定義された値であること。 レコード項目数が、請求情報定義ファイル(※4)に定義された数であること。	S1DSM4003E S1DSM4004E S1DSM4005E S1DSM4012E		
5	データレコード項目	必須項目検査	必須項目として定義されている場合、値が空または全角・半角スペースのみではないこと。	S1DSM4005E		
		形式検査	形式通りの値であること。 または検査対象の値が空の場合は無視する。 ・形式一覧 <table border="1" data-bbox="730 1133 1177 1283"> <thead> <tr> <th>設定値</th> <th>詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>YYYYMM</td> <td>YYYYMM 形式の、存在する年月であること。</td> </tr> </tbody> </table> ※形式検査は、請求に必要となるサービス提供年月項目のみ実施する。	設定値	詳細	YYYYMM
設定値	詳細					
YYYYMM	YYYYMM 形式の、存在する年月であること。					

※1 到達確認画面

到達した結果が表示される画面イメージ。

送信した請求情報等が正常に到達したか、到達時にエラーとなったかを確認することができる。

※2 テスト請求を行う場合は、請求情報等ファイル内のコントロールレコードを、以下のよう

に設定する。

・コントロールレコードフォーマット

項番	項目	属性	バイト数	内容
12	ファイル管理番号	数字	6	テスト機能として処理する場合は、以下の値を設定する。 *TEST*

署名送信以外の処理については、テスト請求/本番請求において異なる点はない。

テスト請求に対して行う処理は、以下の通り。

- ・署名送信
- ・署名送信取消
- ・署名送信ステータス取得
- ・署名送信点検結果取得
- ・署名送信取消結果取得

※3 処理結果

処理結果に設定されるコード値は以下の通り。

他インタフェースについても、同様の処理結果が返却される。(4：到達エラーは、署名送信のみ)

1：正常

- ・処理が正常に終了した場合

2：エラー

- ・伝送請求 API ライブラリ、または電子請求受付システムのチェック処理でエラーが発生した場合
- ・電子請求受付システムとの通信時にエラーが発生した場合
- ・システムエラーが発生した場合

3：キャンセル

- ・ログイン時のダイアログで、キャンセルまたは閉じる（×）ボタンが押された場合
- ・ログイン時のダイアログで、警告発生時に、処理を続行されなかった場合

4：到達エラー

- ・送信した請求情報等が到達時にエラーとなった場合

※4 請求情報定義ファイル

請求可能な請求情報等であることを確認するため、伝送請求 API ライブラリ内において保持している定義ファイル。

電子請求受付システムとの通信時には、最新の定義ファイルの存在有無を確認している。

最新の定義ファイルがリリースされている場合には、自動的に最新の定義ファイルを取得する。

※5 メッセージ ID/メッセージについては、「付録 a エラーメッセージ一覧」を参照。

3. 4. 1. 2 署名送信取消

引数に設定された情報を使用して、電子請求受付システムで管理している請求情報等に対し、取消依頼を行う。

当インターフェースで返却される戻り値の返却情報は、取消の依頼に対する結果であり、取消処理が完了したかどうかの結果ではない。

取消処理が完了したかの結果については、「3. 4. 1. 5 署名送信取消結果取得」にて確認する。

<引数>

No	項目名	型	属性	最小桁数	最大桁数	必須	内容
1	到達番号	String	数字	19	19	○	署名送信した情報を取り消す到達番号。
2	ユーザ ID	String	英数字	—	14		電子請求受付システムにログインするユーザ ID。
3	ユーザ ID 編集不可フラグ	Boolean	—	—	—		ログインダイアログのユーザ ID 欄を編集不可とする場合は True。(初期値は False)

<戻り値>

No	項目名	型	最小桁数	最大桁数	内容
1	返却情報	Class	—	—	
2	処理結果	Enum	—	—	1: 正常、2: エラー、3: キャンセル。
3	メッセージ ID	String	—	10	処理結果がエラーの場合、メッセージ ID。
4	メッセージ	String	—	512	処理結果がエラーの場合、メッセージ。
5	取消到達番号	String	19	19	処理結果が正常の場合、取消到達番号。

3. 4. 1. 3 署名送信ステータス取得

引数に設定された情報を使用して、電子請求受付システムで管理している請求情報等のステータスの取得を行う。

電子請求受付システムでは、審査支払等システムと連携し、請求情報等の最新の状況を管理しており、それぞれの状況をステータスとして取得可能となっている。

<引数>

No	項目名	型	属性	最小桁数	最大桁数	必須	内容
1	事業所番号	String	英数字	10	10	○	署名送信のステータスの取得対象となる事業所番号。
2	請求先都道府県番号	String	数字	2	2	○	事業所の請求先都道府県番号。
3	到達番号リスト	List (String)	数字	19	19		署名送信のステータスを取得する到達番号のリスト。
4	処理対象年月	String	数字	6	6		処理対象となる年月。
5	ユーザ ID	String	英数字	—	14		電子請求受付システムにログインするユーザ ID。
6	ユーザ ID 編集不可フラグ	Boolean	—	—	—		ログインダイアログのユーザ ID 欄を編集不可とする場合は True。(初期値は False)

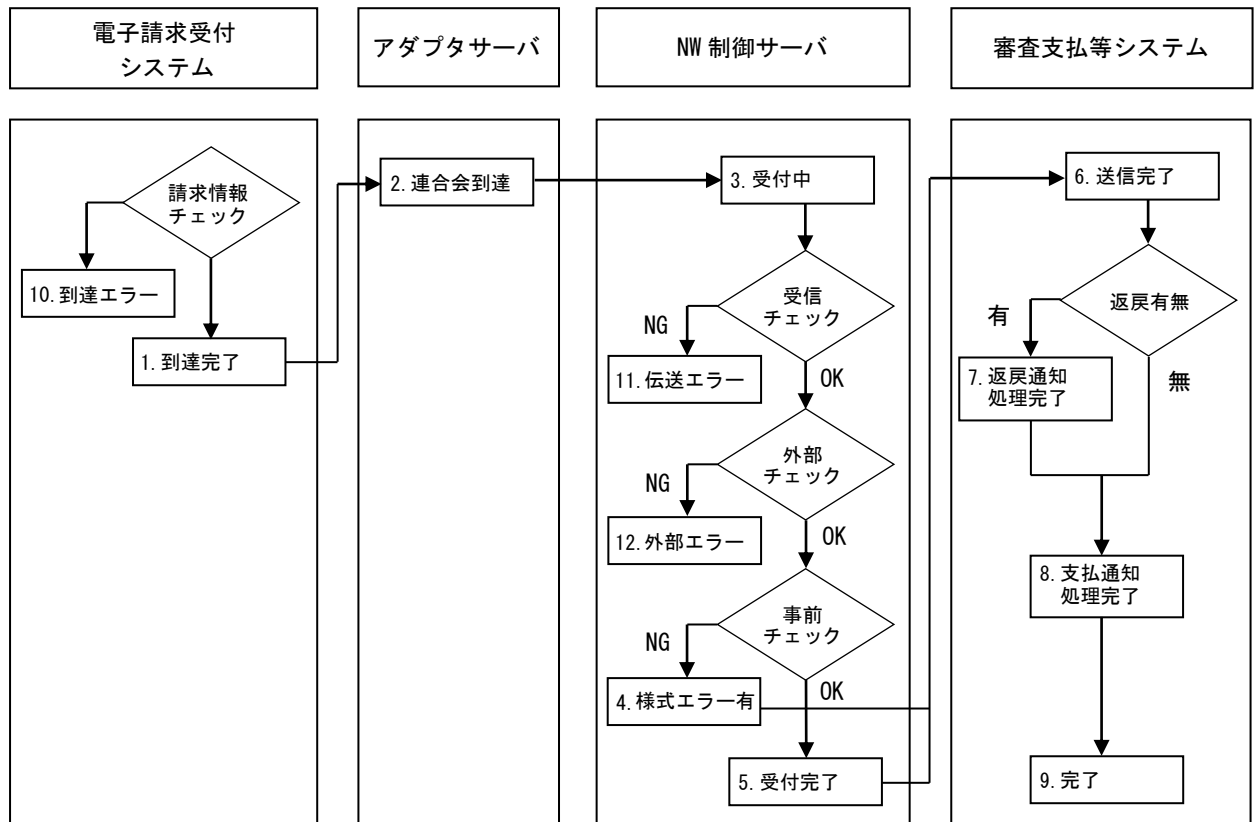
<戻り値>

No	項目名	型	最小桁数	最大桁数	内容
1	返却情報	Class	—	—	
2	処理結果	Enum	—	—	1: 正常、2: エラー、3: キャンセル。
3	メッセージ ID	String	—	10	処理結果がエラーの場合、メッセージ ID。
4	メッセージ	String	—	512	処理結果がエラーの場合、メッセージ。
5	請求情報リスト	List (Class)	—	—	処理結果が正常の場合に設定する。
6	到達番号	String	19	19	ステータスを取得した到達番号。
7	処理対象年月	String	6	6	到達番号に対する処理対象年月。
8	基本ステータスコード	String	4	4	到達番号に対する基本ステータスコード。
9	基本ステータス名	String	—	8	到達番号に対する基本ステータス名。
10	サブステータスコード	String	1	1	到達番号に対するサブステータスコード。
11	サブステータス名	String	—	6	到達番号に対するサブステータス名。
12	到達エラーメッセージ ID	String	—	10	基本ステータスコードが「5C10: 到達エラー」の場合、到達エラーの原因となったメッセージ ID。
13	到達エラーメッセージ	String	—	512	基本ステータスコードが「5C10: 到達エラー」の場合、到達エラーの原因となったメッセージ。

<ステータス一覧>

No	ステータス（コード：名称）		ステータス説明
	基本ステータス	サブステータス	
1	5C01：到達完了	0：－	電子請求受付システムに送信した請求情報等が、国保連合会に送信される前の状態。 または、取消依頼処理が失敗した状態。
		1：取消依頼	「到達完了」状態中に、事業所からの取消依頼を行った状態。
		9：取消完了	取消依頼処理が成功した状態。
2	5C02：連合会到達	0：－	「到達完了」後、アダプタサーバに請求情報等が格納された状態。 または、取消依頼処理が失敗した状態。
		1：取消依頼	「連合会到達」状態中に、事業所からの取消依頼を行った状態。
		9：取消完了	取消依頼処理が成功した状態。
3	5C03：受付中	0：－	「連合会到達」後、NW 制御サーバに請求情報等が格納された状態。 または、取消依頼処理が失敗した状態。
		1：取消依頼	「受付中」状態中に、事業所からの取消依頼を行った状態。
		2：取消中	NW 制御サーバに取消依頼を行った状態。
		9：取消完了	取消依頼処理が成功した状態。
4	5C04：様式エラー有	0：－	「受付中」後、NW 制御サーバにおいて、受信/外部/事前チェックが終了し、事前チェックで様式エラーがあった状態。 または、取消依頼処理が失敗した状態。
		1：取消依頼	「様式エラー有」状態中に、事業所からの取消依頼を行った状態。
		2：取消中	NW 制御サーバに取消依頼を行った状態。
		9：取消完了	取消依頼処理が成功した状態。

No	ステータス（コード：名称）		ステータス説明
	基本ステータス	サブステータス	
5	5C05：受付完了	0：－	「受付中」後、NW 制御サーバにおいて、受信/外部/事前チェックが正常に終了した状態。 または、取消依頼処理が失敗した状態。
		1：取消依頼	「受付完了」状態中に、事業所からの取消依頼を行った状態。
		2：取消中	NW 制御サーバに取消依頼を行った状態。
		9：取消完了	取消依頼処理が成功した状態。
6	5C06：送信完了	0：－	「様式エラー有」または「受付完了」後、審査支払等システムに請求情報等が格納された状態。
7	5C07：返戻通知処理完了	0：－	審査支払等システムにおいて、返戻通知処理が完了となった状態。
8	5C08：支払通知処理完了	0：－	審査支払等システムにおいて、支払通知処理が完了となった状態。
9	5C09：完了	0：－	返戻・支払通知等をすべて受信し、処理が完了した状態。
10	5C10：到達エラー	0：－	電子請求受付システムに送信した請求情報等に不備があり、正常に受け付けられなかった状態。
11	5C11：伝送エラー	0：－	「受付中」後、NW 制御サーバにおいて、受信チェックが終了し、受信チェックでエラーがあった状態。
12	5C12：外部エラー	0：－	「受付中」後、NW 制御サーバにおいて、受信/外部チェックが終了し、外部チェックでエラーがあった状態。



3. 4. 1. 4 署名送信点検結果取得

引数に設定された情報を使用して、電子請求受付システムで管理している請求情報等の点検結果を取得する。

点検結果が審査支払等システムから電子請求受付システムに連携されている場合（※1）のみ、点検結果を取得することができる。

<引数>

No	項目名	型	属性	最小桁数	最大桁数	必須	内容
1	到達番号	String	数字	19	19	○	署名送信の点検結果を取得する到達番号。
2	ユーザ ID	String	数字	—	14		電子請求受付システムにログインするユーザ ID。
3	ユーザ ID 編集不可フラグ	Boolean	—	—	—		ログインダイアログのユーザ ID 欄を編集不可とする場合は True。（初期値は False）

<戻り値>

No	項目名	型	最小桁数	最大桁数	内容
1	返却情報	Class	—	—	
2	処理結果	Enum	—	—	1：正常、2：エラー、3：キャンセル。
3	メッセージ ID	String	—	10	処理結果がエラーの場合、メッセージ ID。
4	メッセージ	String	—	512	処理結果がエラーの場合、メッセージ。
5	署名送信点検結果	Stream	—	—	正常の場合、署名送信の点検結果を ZIP 圧縮（※2）し、暗号化したデータ（※3）。 ・ interface.xml ・ CsvErr.txt ・ Transmitinfo.txt （※4）（※5）（※6）（※7）
6	署名送信点検結果ファイル名	String	—	128	正常の場合、署名送信の点検結果を暗号化したファイル名。

※1 点検結果が審査支払等システムから電子請求受付システムに連携されている場合の基本ステータスは、以下の通り。

- ・ 5C04：様式エラー有
- ・ 5C05：受付完了
- ・ 5C11：伝送エラー
- ・ 5C12：外部エラー

なお、「様式エラー有」または「受付完了」後に、以下ステータスに進んでいる場合も取得可能である。

- ・ 5C06：送信完了
- ・ 5C07：返戻通知処理完了
- ・ 5C08：支払通知処理完了
- ・ 5C09：完了

※2 ZIP ファイルの命名規則は、以下の通りである。

到達番号.zip

※3 テスト請求に対する署名送信の点検結果は、暗号化されていないものを返却。

※4 署名送信点検結果の interface.xml ファイルの詳細は、「付録. b ファイル仕様」を参照。

※5 署名送信点検結果の GsvErr.txt 及び Transmitinfo.txt ファイルの詳細は、「付録. d 拡張ファイル」を参照。

※6 暗号化されているデータは、「3. 4. 5. 1 復号」において復号を行う。

※7 interface.xml は必ず格納されるが、GsvErr.txt 及び Transmitinfo.txt については含まれる場合と含まれない場合が存在する。

3. 4. 1. 5 署名送信取消結果取得

引数に設定された情報を使用して、電子請求受付システムで管理している請求情報等の取消結果を取得する。

取消結果が確定している場合（※1）のみ、取消結果を取得することができる。

<引数>

No	項目名	型	属性	最小桁数	最大桁数	必須	内容
1	到達番号	String	数字	19	19	○	署名送信の点検結果を取得する到達番号。
2	取消到達番号	String	数字	19	19		署名送信取消時に返却された取消到達番号。
3	ユーザ ID	String	数字	—	14		電子請求受付システムにログインするユーザ ID。
4	ユーザ ID 編集不可フラグ	Boolean	—	—	—		ログインダイアログのユーザ ID 欄を編集不可とする場合は True。（初期値は False）

<戻り値>

No	項目名	型	最小桁数	最大桁数	内容
1	返却情報	Class	—	—	
2	処理結果	Enum	—	—	1：正常、2：エラー、3：キャンセル。
3	メッセージ ID	String	—	10	処理結果がエラーの場合、メッセージ ID。
4	メッセージ	String	—	512	処理結果がエラーの場合、メッセージ。
5	取消結果情報	List (Class)	—	—	処理結果が正常の場合。
6	取消到達番号	String	19	19	取消結果を取得した取消到達番号。
7	署名送信取消結果フラグ	Boolean	—	—	取消結果 OK の場合は True、それ以外は False。

No	項目名	型	最小桁数	最大桁数	内容
8	署名送信取消結果	Stream	—	—	取消到達番号に対する取消結果を ZIP 圧縮 (※2) したデータ。 NW 制御サーバまで請求情報等が連携された後に、取消が依頼された場合のみ設定される。 ・ interface.xml (※3) (※4)
9	署名送信取消結果ファイル名	String	—	128	取消到達番号に対する取消結果ファイル名。 NW 制御サーバまで請求情報等が連携された後に、取消が依頼された場合のみ設定される。(※3)

※1 取消結果が確定している場合のサブステータスは、以下の通り。

- ・ 9 : 取消完了、または 0 : 取消を行っていない状態

※2 ZIP ファイルの命名規則は、以下の通りである。

到達番号 + _ + 取消到達番号.zip

※3 NW 制御サーバまで請求情報等が連携された後の基本ステータスは、以下の通り。

- ・ 5C03 : 受付中
- ・ 5C04 : 様式エラー有
- ・ 5C05 : 受付完了

※4 署名送信取消結果の interface.xml ファイルの詳細は、「付録. b ファイル仕様」を参照。

3. 4. 2 通知文書関連

審査支払等システムから連携される通知文書（増減単位数返戻通知/支払通知等）の取得に関するインタフェースを以下に示す。

No	処理	ルート	処理内容
1	通知文書一覧取得	請求ソフトウェア → 伝送請求 API ライブラリ	通知文書一覧の取得依頼
		伝送請求 API ライブラリ → 請求ソフトウェア	通知文書の一覧情報を返却
2	通知文書ファイル ダウンロード	請求ソフトウェア → 伝送請求 API ライブラリ	通知文書（増減単位数返戻通知/支払通知等）ファイルの取得依頼
		伝送請求 API ライブラリ → 請求ソフトウェア	通知文書ファイルを返却

3. 4. 2. 1 通知文書一覧取得

引数に設定された情報を使用して、電子請求受付システムで管理している通知文書（増減単位数返戻通知/支払通知等）の一覧情報を取得する。

当インタフェースで返却される戻り値の返却情報は、通知文書の一覧情報であり、通知文書ファイル自体ではない。通知文書ファイルの取得については、「3. 4. 2. 2 通知文書ファイルダウンロード」にて取得する。

<引数>

No	項目名	型	属性	最小桁数	最大桁数	必須	内容
1	事業所番号	String	英数字	10	10	○	通知文書一覧の取得対象となる事業所番号。
2	請求先都道府県番号	String	数字	2	2	○	事業所の請求先都道府県番号。

No	項目名	型	属性	最小桁数	最大桁数	必須	内容
3	通知文書番号	String	数字	20	20		特定の通知文書番号以降の一覧を取得する場合の、取得対象通知文書番号。
4	処理対象年月	String	数字	6	6		処理対象となる年月。
5	ユーザ ID	String	英数字	—	14		電子請求受付システムにログインするユーザ ID。
6	ユーザ ID 編集不可フラグ	Boolean	—	—	—		ログインダイアログのユーザ ID 欄を編集不可とする場合は True。(初期値は False)

<戻り値>

No	項目名	型	最小桁数	最大桁数	内容
1	返却情報	Class	—	—	
2	処理結果	Enum	—	—	1 : 正常、2 : エラー、3 : キャンセル。
3	メッセージ ID	String	—	10	処理結果がエラーの場合、メッセージ ID。
4	メッセージ	String	—	512	処理結果がエラーの場合、メッセージ。
5	通知文書情報リスト	List (Class)	—	—	処理結果が正常の場合。
6	通知文書番号	String	20	20	通知文書番号を返却する。 (通知文書ファイルを取得する際に指定する番号(昇順))
7	通知文書名	String	—	128	通知文書名。
8	処理対象年月	String	6	6	通知文書の処理対象年月。
9	データタイプ	String	3	3	"ZIP"
10	受領確認状態コード	String	1	1	ユーザが通知文書を取得済みか表す状態コード。(※1) 0 : 未受領、1 : 受領済み

No	項目名	型	最小桁数	最大桁数	内容
11	受領確認状態名	String	—	3	ユーザが通知文書を取得済みか表す状態名。 0：‘未受領’を設定 0以外：設定なし
12	職員発行日時	DateTime	—	—	職員が通知文書を発行した日時。
13	受領確認日時	DateTime	—	—	事業所／代理人が通知文書を取得した日時。

※1 「3. 4. 2. 2 通知文書ファイルダウンロード」において、通知文書ファイルを取得した際に、「1：受領済み」となる。

3. 4. 2. 2 通知文書ファイルダウンロード

引数に設定された情報を使用して、電子請求受付システムで管理している通知文書（増減単位数返戻通知/支払通知等）ファイルを取得する。

「3. 4. 2. 1 通知文書一覧取得」において取得した通知文書の一覧情報を使用して取得対象の通知文書情報を引数に設定することで取得することができる。

<引数>

No	項目名	型	属性	最小桁数	最大桁数	必須	内容
1	事業所番号	String	英数字	10	10	○	通知文書の取得対象となる事業所番号。
2	請求先都道府県番号	String	数字	2	2	○	事業所の請求先都道府県番号。
3	通知文書番号リスト	List (String)	数字	20	20	○	通知文書番号のリスト。
4	ユーザ ID	String	英数字	—	14		電子請求受付システムにログインするユーザ ID。
5	ユーザ ID 編集不可フラグ	Boolean	—	—	—		ログインダイアログのユーザ ID 欄を編集不可とする場合は True。（初期値は False）

<戻り値>

No	項目名	型	最小桁数	最大桁数	内容
1	返却情報	Class	—	—	
2	処理結果	Enum	—	—	1: 正常、2: エラー、3: キャンセル。
3	メッセージ ID	String	—	10	処理結果がエラーの場合、メッセージ ID。
4	メッセージ	String	—	512	処理結果がエラーの場合、メッセージ。
5	通知文書ファイル	Stream	—	—	処理結果が正常の場合、通知文書を ZIP 圧縮 (※1) し、暗号化したデータ。 ・ interface.xml ・ 交換情報 (※2) (※3) (※4)
6	通知文書ファイル名	String	—	128	処理結果が正常の場合、通知文書を暗号化したファイル名。

※1 ZIP ファイルの命名規則は、以下の通りである。

通知文書番号.zip

※2 通知文書ファイルの interface.xml ファイルの詳細は、「付録. b ファイル仕様」を参照。

※3 交換情報の詳細は、「付録. e ファイル階層図」を参照。

※4 暗号化されているデータは、「3. 4. 5. 1 復号」において復号を行う。

3. 4. 3 お知らせ関連

電子請求受付システムにおいて登録されるお知らせ情報や、審査支払等システムから連携される連絡電文の取得に関するインタフェースを以下に示す。

なお、審査支払等システムから連携される連絡電文は、電子請求受付システムにおいてはお知らせ情報として管理する。

No	処理	ルート	処理内容
1	お知らせ一覧取得	請求ソフトウェア → 伝送請求 API ライブラリ	お知らせ情報（連絡電文含む）の一覧情報の取得依頼
		伝送請求 API ライブラリ → 請求ソフトウェア	お知らせ一覧情報を返却

No	処理	ルート	処理内容
2	お知らせ既読情報更新	請求ソフトウェア → 伝送請求 API ライブラリ	お知らせ情報（連絡電文含む）を既読状態へ更新依頼
		伝送請求 API ライブラリ → 請求ソフトウェア	処理結果を返却
3	お知らせ添付ファイルダウンロード	請求ソフトウェア → 伝送請求 API ライブラリ	お知らせ情報（連絡電文含む）に添付されているファイルを取得依頼
		伝送請求 API ライブラリ → 請求ソフトウェア	取得対象のお知らせ情報の添付ファイルを返却

3. 4. 3. 1 お知らせ一覧取得

引数に設定された情報を使用して、電子請求受付システムで管理しているお知らせ情報（連絡電文含む）の一覧情報を取得する。

当インターフェースで返却される戻り値は、お知らせの一覧情報であり、お知らせ情報に添付されているファイルは返却されない。添付ファイルの取得については、「3. 4. 3. 3 お知らせ添付ファイルダウンロード」にて取得する。

<引数>

No	項目名	型	属性	最小桁数	最大桁数	必須	内容
1	事業所番号	String	英数字	10	10		お知らせ情報を取得する事業所番号。
2	請求先都道府県番号	String	数字	2	2	△ (※1)	事業所の請求先都道府県番号。
3	ユーザ ID	String	英数字	—	14		電子請求受付システムにログインするユーザ ID。
4	ユーザ ID 編集不可フラグ	Boolean	—	—	—		ログインダイアログのユーザ ID 欄を編集不可とする場合は True。(初期値は False)

<戻り値>

No	項目名	型	最小桁数	最大桁数	内容
1	返却情報	Class	—	—	
2	処理結果	Enum	—	—	1: 正常、2: エラー、3: キャンセル。
3	メッセージ ID	String	—	10	処理結果がエラーの場合、メッセージ ID。
4	メッセージ	String	—	512	処理結果がエラーの場合、メッセージ。
5	送信先ユーザ ID	String	—	14	お知らせの送信先ユーザ ID。
6	お知らせ情報リスト	List (Class)	—	—	処理結果が正常で、お知らせが 1 件以上存在する場合に設定する。
7	お知らせ番号	String	16	16	お知らせ番号。
8	タイトル	String	—	85	お知らせのタイトル。
9	お知らせ内容	String	—	2048	お知らせの内容。
10	表示用更新日時	DateTime	—	—	ユーザへ表示するための更新日時。 (※2)
11	更新日時	DateTime	—	—	お知らせ情報の実際の更新日時。(※2)
12	お知らせカテゴリコード	String	2	2	お知らせのカテゴリコード。
13	お知らせカテゴリ名	String	—	20	お知らせのカテゴリ名。
14	お知らせサブカテゴリ名	String	—	30	お知らせのサブカテゴリ名。

No	項目名	型	最小桁数	最大桁数	内容
15	新着情報フラグ	Enum	—	—	0：通常、1：新規、2：更新。
16	作業依頼フラグ	Boolean	—	—	作業依頼を表すお知らせの場合は True、それ以外は False。
17	既読フラグ	Boolean	—	—	既読のお知らせの場合は True、それ以外は False。(※3)
18	提示開始日	DateTime	—	—	お知らせの提示開始日。
19	提示終了日	DateTime	—	—	お知らせの提示終了日。
20	送信先事業所番号	String	10	10	お知らせの送信先事業所番号。
21	添付ファイル情報リスト	List (Class)	—	—	添付ファイルが 1 件以上存在する場合に設定する。
22	ファイル番号	Integer	1	1	お知らせの添付ファイル番号。
23	ファイル名	String	—	128	お知らせの添付ファイル名。
24	ファイルサイズ	Integer	—	10	お知らせの添付ファイルサイズ (byte)。

※1 事業所番号が設定された場合は必須。

※2 「表示用更新日時」は、ユーザが画面上等で確認可能な更新日時として使用する。

「更新日時」は、実際にお知らせ情報が更新された日時で、各種内部処理で使用する。

※3 「既読フラグ」は、「3. 4. 3. 2 お知らせ既読情報更新」において更新される。

3. 4. 3. 2 お知らせ既読情報更新

引数に設定された情報を使用して、電子請求受付システムで管理しているお知らせ情報（連絡電文含む）を既読状態へ更新する。

電子請求受付システムでは、登録されているお知らせ情報の既読/未読状態をユーザ毎に管理している。

既に既読状態のお知らせに対しては、更新を行う必要はない。

<引数>

No	項目名	型	属性	最小桁数	最大桁数	必須	内容
1	お知らせ番号リスト	List (String)	英数字	16	16	○	既読対象のお知らせ番号のリスト。
2	ユーザ ID	String	英数字	—	14		電子請求受付システムにログインするユーザ ID。
3	ユーザ ID 編集不可フラグ	Boolean	—	—	—		ログインダイアログのユーザ ID 欄を編集不可とする場合は True。(初期値は False)

<戻り値>

No	項目名	型	最小桁数	最大桁数	内容
1	返却情報	Class	—	—	
2	処理結果	Enum	—	—	1: 正常、2: エラー、3: キャンセル。
3	メッセージ ID	String	—	10	処理結果がエラーの場合、メッセージ ID。
4	メッセージ	String	—	512	処理結果がエラーの場合、メッセージ。

3. 4. 3. 3 お知らせ添付ファイルダウンロード

引数に設定された情報を使用して、電子請求受付システムで管理しているお知らせ情報（連絡電文含む）に添付されているファイルを取得する。

「3. 4. 3. 1 お知らせ一覧取得」において取得したお知らせ情報を引数に設定することで、取得対象の添付ファイルを取得することができる。

<引数>

No	項目名	型	属性	最初桁数	最大桁数	必須	内容
1	お知らせ番号	String	英数字	16	16	○	取得する添付ファイルのお知らせ番号。
2	添付ファイル番号	Integer	—	1	1	○	取得する添付ファイルの番号。
3	ユーザ ID	String	英数字	—	14		電子請求受付システムにログインするユーザ ID。
4	ユーザ ID 編集不可フラグ	Boolean	—	—	—		ログインダイアログのユーザ ID 欄を編集不可とする場合は True。(初期値は False)

<戻り値>

No	項目名	型	最小桁数	最大桁数	内容
1	返却情報	Class	—	—	
2	処理結果	Enum	—	—	1: 正常、2: エラー、3: キャンセル。
3	メッセージ ID	String	—	10	処理結果がエラーの場合、メッセージ ID。
4	メッセージ	String	—	512	処理結果がエラーの場合、メッセージ。
5	添付ファイル	Stream	—	—	処理結果が正常の場合、お知らせ添付ファイルのデータ。(※1)

※1 拡張子が「.kpcs」の添付ファイルデータは暗号化されているため、「3. 4. 5. 1 復号」において復号を行う。

3. 4. 4 マニュアル関連

電子請求受付システムにおいて管理されているマニュアルの取得に関するインタフェースを以下に示す。

No	処理	ルート	処理内容
1	マニュアル一覧取得	請求ソフトウェア → 伝送請求 API ライブラリ	マニュアル一覧情報を取得
		伝送請求 API ライブラリ → 請求ソフトウェア	マニュアル一覧情報を送信
2	マニュアルファイルダウンロード	請求ソフトウェア → 伝送請求 API ライブラリ	マニュアルファイルを取得
		伝送請求 API ライブラリ → 請求ソフトウェア	取得対象のマニュアル情報を送信

3. 4. 4. 1 マニュアル一覧取得

引数に設定された情報を使用して、電子請求受付システムで管理しているマニュアル情報の一覧情報を取得する。

当インタフェースで返却される戻り値は、マニュアルの一覧情報であり、マニュアルファイル自体ではない。マニュアルファイルの取得については、「3. 4. 4. 2 マニュアルファイルダウンロード」にて取得する。

<引数>

なし

<戻り値>

No	項目名	型	最小桁数	最大桁数	内容
1	返却情報	Class	—	—	
2	処理結果	Enum	—	—	1 : 正常、2 : エラー。
3	メッセージ ID	String	—	10	処理結果がエラーの場合、メッセージ ID。
4	メッセージ	String	—	512	処理結果がエラーの場合、メッセージ。
5	マニュアル情報リスト	List (Class)	—	—	処理結果が正常の場合に設定する。
6	マニュアル ID	String	5	5	マニュアルファイルの ID。
7	マニュアルファイル名	String	—	100	マニュアルファイルの名称。
8	説明	String	—	1000	マニュアルファイルの説明。
9	更新日時	DateTime	—	—	マニュアルファイルの更新日時。
10	ファイルサイズ	Integer	—	9	マニュアルファイルのサイズ。

3. 4. 4. 2 マニュアルファイルダウンロード

引数に設定された情報を使用して、電子請求受付システムで管理しているマニュアルファイルを取得する。

「3. 4. 4. 1 マニュアル一覧取得」において取得したマニュアル情報を引数に設定することで、取得対象のマニュアルファイルを取得することができる。

<引数>

No	項目名	型	属性	最小桁数	最大桁数	必須	内容
1	マニュアル ID	String	英数字	—	5	○	マニュアル ID。

<戻り値>

No	項目名	型	最小桁数	最大桁数	内容
1	返却情報	Class	—	—	
2	処理結果	Enum	—	—	1：正常、2：エラー。
3	メッセージ ID	String	—	10	処理結果がエラーの場合、メッセージ ID。
4	メッセージ	String	—	512	処理結果がエラーの場合、メッセージ。
5	マニュアル情報	Class	—	—	処理結果が正常の場合に設定する。
6	ファイル名	String	—	100	マニュアルファイルのファイル名。
7	ファイル	Stream	—	—	マニュアルファイルのデータ。
8	更新日時	DateTime	—	—	マニュアルファイルの更新日時。

3. 4. 5 その他

電子請求受付システムとの連携以外に関するインタフェースを以下に示す。

No	処理	ルート	処理内容
1	復号	請求ソフトウェア → 伝送請求 API ライブラリ	暗号化ファイルを指定のディレクトリへ復号依頼
		伝送請求 API ライブラリ → 請求ソフトウェア	処理結果を返却

3. 4. 5. 1 復号

復号ツールを起動し、引数に設定された情報を使用して、暗号化ファイルを指定したディレクトリへ復号する。

暗号化されているファイルの拡張子は「kcps」とする。

<引数>

No	項目名	型	属性	最小桁数	最大桁数	必須	内容
1	復号対象ファイル	Stream	—	—	—	○	暗号化されたファイルのデータ。
2	復号先一時ディレクトリパス	String	混在	—	256	○	復号先の空ディレクトリのフルパス。(※1)

※1 指定先のディレクトリ内にファイルが存在する場合、エラーとなる。

<戻り値>

No	項目名	型	最小桁数	最大桁数	内容
1	返却情報	Class	—	—	
2	処理結果	Enum	—	—	1: 正常、2: エラー。
3	メッセージ ID	String	—	10	処理結果がエラーの場合、メッセージ ID。
4	メッセージ	String	—	512	処理結果がエラーの場合、メッセージ。

4. 制限事項

4. 1 使用上の制限

連携データの不整合等が発生する可能性があるため、マルチスレッド/マルチプロセスによる多重起動を禁止する。

付録

付録. a エラーメッセージ一覧

伝送請求 API ライブラリから返却されるメッセージ ID を以下に示す。

〈エラーメッセージ一覧の記載内容〉

1	メッセージの内容 ※ { }内の 0 から始まる連番は、「3. 備考」に記載された置換文字列で置換して表示する
2	メッセージ出力条件
3	備考
4	エラーメッセージの返却方法

〈ログインに関するエラーメッセージ〉

メッセージ ID	種類	内容	
S1MNM0030E	エラー	1	ログインできませんでした。 ユーザ ID、またはパスワードを確認してください。
		2	入力したユーザ ID がシステムに存在していなかった場合。または、パスワードが誤っていた場合。
		3	—
		4	ダイアログ表示
S1MNM4C72E	エラー	1	ユーザ ID のパスワード有効期限が切れているか、ユーザ ID 登録後初めてのログインです。 パスワードを変更する必要があります。 電子請求受付システム総合窓口の【代理人情報／代理人証明書の申請はこちら】からログインしてください。
		2	ログインユーザ（代理人）で電子請求受付システムにログインし、ユーザ ID のパスワードが、パスワード有効期限を越えている場合。
		3	—
		4	ダイアログ表示、戻り値（返却情報）

メッセージ ID	種類	内容	
S1MNM4C74W	警告	1	現在のパスワードの有効期限が{0}までとなっています。 パスワードを変更せずにログインする場合、【はい】ボタンを押してください。 パスワードを変更する場合、【いいえ】ボタンを押してください。 その後、電子請求受付システム総合窓口の【代理人情報／代理人証明書の申請はこちら】からログインしてください。
		2	ログインユーザ（代理人）で電子請求受付システムにログインし、システム日付からパスワード有効期限までの日数が、30日を切っている場合。
		3	置換文字列 {0}：パスワード有効期限（YYYY年MM月DD日）
		4	ダイアログ表示
S1MNM5C27E	エラー	1	連続して誤ったパスワードが入力されたため、ユーザIDがロックされています。 ロックされてから{0}分経過すると自動的に解除されますので、しばらくお待ちください。
		2	3回連続して誤ったパスワードを入力した場合。
		3	置換文字列 {0}：IDロック解除時間
		4	ダイアログ表示、戻り値（返却情報）
S1MNM5C28E	エラー	1	ユーザIDのパスワード有効期限が切れているか、ユーザID登録後初めてのログインです。 電子請求受付システムのログイン画面からログインし、パスワードを変更してください。
		2	ログインユーザ（事業所）で電子請求受付システムにログインし、ユーザIDのパスワードが、パスワード有効期限を越えている場合。
		3	—
		4	ダイアログ表示、戻り値（返却情報）

メッセージ ID	種類	内容	
S1MNM5C29W	警告	1	現在のパスワードの有効期限が{0}までとなっています。 パスワードを変更せずにログインする場合、【はい】ボタンを押してください。 パスワードを変更する場合、【いいえ】ボタンを押してください。 その後、電子請求受付システムのログイン画面からログインし、パスワードを変更してください。
		2	ログインユーザ（事業所）で電子請求受付システムにログインし、システム日付からパスワード有効期限までの日数が、30日を切っている場合。
		3	置換文字列 {0} : パスワード有効期限 (YYYY年 MM月 DD日)
		4	ダイアログ表示
S1MNM5C30W	警告	1	同じユーザでログイン中です。 別のブラウザ等でログインしているか、前回ログインした後にログアウトしていない可能性があります。 強制的にログインする場合、【はい】ボタンを押してください。 ログインしない場合、【いいえ】ボタンを押してください。 ご不明な点は、介護電子請求ヘルプデスクにお問い合わせください。
		2	既にログインしているユーザ ID でログインしようとした場合。
		3	—
		4	ダイアログ表示
S1CMM5C01E	エラー	1	後から強制ログインされたか、不正なアクセスの可能性があるので、処理を中断します。 再度ログインしてください。 ご不明な点は、介護電子請求ヘルプデスクにお問い合わせください。
		2	ログイン中に、別ブラウザ等から強制ログインされた場合。
		3	—
		4	戻り値（返却情報）

<請求情報チェックに関するエラーメッセージ>

メッセージ ID	種類	内容	
S1DSM4001E	エラー	1	レコード数が不正です。 3レコード以上設定してください。
		2	レコード数検査エラー
		3	—
		4	戻り値（返却情報）
S1DSM4002E	エラー	1	レコード種別が不正です。 先頭レコードは“1”、最終レコードは“3”、その他のレコードは“2”を設定してください。
		2	レコード種別検査エラー
		3	—
		4	戻り値（返却情報）
S1DSM4003E	エラー	1	レコード項目数が不正です。 {0}項目以上設定してください。
		2	交換情報識別番号検査エラー
		3	置換文字列 {0}：最低限必要な項目数
		4	戻り値（返却情報）
S1DSM4004E	エラー	1	レコード項目数が不正です。 {0}項目を設定してください。
		2	レコード項目数検査エラー
		3	置換文字列 {0}：正しい項目数
		4	戻り値（返却情報）
S1DSM4005E	エラー	1	必須項目に値が設定されていません。 値を設定してください。
		2	必須項目検査エラー 交換情報識別番号検査エラー
		3	—
		4	戻り値（返却情報）
S1DSM4006E	エラー	1	値の形式が不正です。 正しい形式（{0}）で設定してください。
		2	形式検査エラー
		3	置換文字列 {0}：正しい形式
		4	戻り値（返却情報）

メッセージ ID	種類	内容	
S1DSM4007E	エラー	1	事業所番号が引数と異なります。 同じ値を設定してください。
		2	事業所番号検査エラー
		3	—
		4	戻り値（返却情報）
S1DSM4010E	エラー	1	データ種別が不正です。 正しい値を設定してください。
		2	データ種別検査エラー
		3	—
		4	戻り値（返却情報）
S1DSM4011E	エラー	1	交換情報識別番号が不正です。 正しい値を設定してください。
		2	交換情報識別番号検査エラー
		3	—
		4	戻り値（返却情報）
S1DSM4012E	エラー	1	レコード種別コードが不正です。 正しい値を設定してください。
		2	レコード項目数検査エラー
		3	—
		4	戻り値（返却情報）
S1DSM4013E	エラー	1	指定されたファイルの文字コードがシフト JIS ではありません。
		2	文字コード検査エラー
		3	—
		4	戻り値（返却情報）

<到達エラーに関するエラーメッセージ>

メッセージ ID	種類	内容	
S1MNM4C03E	エラー	1	到達エラー：請求年月 {0} は、現在請求の受付を行っていません。 正しい請求年月で再度請求を行ってください。 エラー内容を訂正し、再度送信をしてください。
		2	請求されている請求年月が、請求を受け付けていない場合。
		3	置換文字列 {0}：請求年月
		4	戻り値（返却情報）
S1MNM4C04E	エラー	1	到達エラー：請求情報に入力している事業所は、現在代理人に委任しているため、代理人しか電子請求できません。 委任している代理人に確認の上、代理人が請求してください。 エラー内容を訂正し、再度送信をしてください。
		2	代理人に委任しているにも関わらず、事業所自らが、電子請求を行った場合。
		3	—
		4	戻り値（返却情報）
S1MNM4C05E	エラー	1	到達エラー：ログインしているユーザ ID と請求情報に入力されている事業所番号が一致しません。 ユーザ ID と請求情報に入力している事業所番号を確認の上、正しい ID、もしくは、正しい事業所番号で請求してください。 エラー内容を訂正し、再度送信をしてください。
		2	請求書に入力している事業所と、ユーザ ID との関連が不正な場合。
		3	—
		4	戻り値（返却情報）

メッセージ ID	種類	内容	
S1MNM4C06E	エラー	1	到達エラー：ログインしているユーザ ID では、請求情報に入力している事業所の請求は行えません。 ユーザ ID と請求情報に入力している事業所番号を確認の上、正しい ID、もしくは、正しい事業所番号で請求してください。 エラー内容を訂正し、再度送信をしてください。
		2	代理人が委任されていない事業所の電子請求を行った場合。
		3	—
		4	戻り値（返却情報）
S1MNM4C07E	エラー	1	到達エラー：請求情報に入力されている事業所と請求年月で、既に別のユーザ ID から請求を受付けています。 事業所と請求年月を確認の上、請求先の国保連合会に確認を行ってください。 エラー内容を訂正し、再度送信をしてください。
		2	同一事業所、同一請求年月に対して、別ユーザ ID により既に電子請求されている場合。
		3	—
		4	戻り値（返却情報）
S1MNM4C08E	エラー	1	到達エラー：サービス提供年月の時点で無効な事業所番号が請求情報に入力されています。 {0} 事業所番号を見直し、正しい事業所番号で再度請求を行ってください。 エラー内容を訂正し、再度送信をしてください。
		2	請求書に入力されているサービス提供年月が、事業所の有効期間外の場合。
		3	置換文字列 {0}：事業所番号
		4	戻り値（返却情報）

メッセージ ID	種類	内容	
S1MNM4C10E	エラー	1	到達エラー：電子証明書の情報と受付けた請求情報の内容が一致しません。 請求情報に入力している事業所番号、請求を行う国保連合会及びログインで入力したユーザ ID を見直してください。 また、署名を行った証明書が正しいものであるかを確認してください。 エラー内容を訂正し、再度送信をしてください。
		2	本人性確認の結果、エラーとなった場合。
		3	—
		4	戻り値（返却情報）
S1MNM4C16E	エラー	1	到達エラー：ログインしたユーザ ID では、指定した請求先の国保連合会に請求できません。 請求先の国保連合会に請求できるユーザ ID で、再度送信をしてください。
		2	請求先国保連合会とユーザ ID が不整合の場合。
		3	—
		4	戻り値（返却情報）
S1MNM4C17E	エラー	1	到達エラー：この請求情報は、以下の到達番号で既に請求されています。 到達番号： {0} 請求情報の内容を確認して、再度送信をしてください。
		2	同一の請求情報が送信された場合。
		3	置換文字列 {0}：到達番号
		4	戻り値（返却情報）
S1MNM4C28E	エラー	1	請求可能なユーザ ID、事業所番号ではない、もしくは事業所番号が電子請求受付システムに登録されていません。 請求可能なユーザ ID、事業所番号であることを確認してください。
		2	電子請求受付システムに登録されていないユーザ ID、事業所番号を送信された場合。
		3	—
		4	ダイアログ表示、戻り値（返却情報）

メッセージ ID	種類	内容	
S1MNM4C34E	エラー	1	証明書が失効しているため、受け付けられませんでした。 有効な証明書を使って請求を行ってください。
		2	証明書が既に失効状態となっている場合。
		3	—
		4	戻り値（返却情報）
S1MNM4C36E	エラー	1	到達エラー：請求書に記入されている請求年月とサービス提供年月の相関エラーです。 請求年月＞サービス提供年月を設定してください。エラー内容を訂正し、再度送信をしてください。
		2	請求年月とサービス提供年月にて整合性が取れない場合。
		3	—
		4	戻り値（返却情報）
S1MNM4C63E	エラー	1	付与された証明書を検証した結果、証明書エラーになりました。 パソコンにインストールされた証明書の有効期限が切れています。証明書の更新及びインストールを行い、再度請求情報を送信してください。 ※新しい証明書の発行申請がお済みである場合、発行された新しい証明書をパソコンにインストールしていない可能性があります。新しい証明書がパソコンにインストールされているかご確認ください。 詳しい手順については、電子請求受付システムのログイン後のFAQ『請求情報を送信した際に、「付与された証明書を検証した結果、証明書エラーになりました。」というエラーが発生する』を参照してください。
		2	証明書の有効期限が切れている場合。
		3	—
		4	戻り値（返却情報）

メッセージ ID	種類	内容	
S1MNM4C64E	エラー	1	付与された証明書を検証した結果、検証エラーになりました。事業所からの請求等が集中し、一時的に電子請求受付システムが混み合っている可能性があります。時間をおいて、再度請求情報を送信してください。 上記の対応を行ってもエラーが解消されない場合、電子請求ヘルプデスクにご連絡ください。
		2	証明書の検証を正常に行うことができなかった場合。
		3	—
		4	戻り値（返却情報）
S1MNM4C65E	エラー	1	付与された証明書を検証した結果、データエラーになりました。 インターネット回線上的の問題により、正しく送信できませんでした。再度請求情報を送信してください。 上記の対応を行ってもエラーが解消されない場合、電子請求ヘルプデスクにご連絡ください。
		2	証明書の検証を正常に行うことができなかった場合。
		3	—
		4	戻り値（返却情報）
S1MNM4C67E	エラー	1	付与された証明書を検証した結果、環境定義エラーになりました。 電子請求受付システムにおける一時的なエラーの可能性が あります。再度請求情報を送信してください。 上記の対応を行ってもエラーが解消されない場合、電子請求ヘルプデスクにご連絡ください。
		2	証明書の検証を正常に行うことができなかった場合。
		3	—
		4	戻り値（返却情報）

メッセージ ID	種類	内容	
S1MNM5C38E	エラー	1	介護電子請求受付システムで利用できる証明書ではありません。 有効な証明書を使って請求を行ってください。
		2	介護・障害共通証明書または介護保険証明書以外の証明書を使用した請求が行われた場合。
		3	—
		4	戻り値（返却情報）
S1MNM5C73E	エラー	1	到達エラー：お使いの統合インストーラが最新のバージョンではないため請求ができません。 以下のお知らせ欄を参照し、統合インストーラのバージョンアップを行い、再度請求情報を送信してください。
		2	Ver1.0.1以下の統合インストーラと、2016年7月19日以降に発行された証明書を使用した請求が行われた場合。
		3	到達確認画面のお知らせ欄より統合インストーラバージョンアップ手順書が取得可能。
		4	戻り値（返却情報）

<内部プログラム連携に関するエラーメッセージ>

メッセージ ID	種類	内容	
S1DSM3001E	エラー	1	{0}に値を設定してください。
		2	必須項目に値が存在しない。
		3	置換文字列 {0} : 引数名
		4	戻り値 (返却情報)
S1DSM3002E	エラー	1	{0}、{1}に値を設定してください。
		2	条件付き必須項目に値が存在しない。
		3	置換文字列 {0} : エラーとなる前提条件 {1} : 引数名
		4	戻り値 (返却情報)
S1DSM3003E	エラー	1	{0}は1件以上必須です。
		2	必須リスト等のデータが0件。
		3	置換文字列 {0} : 引数名
		4	戻り値 (返却情報)
S1DSM3004E	エラー	1	{0}は{1}桁以下で設定してください。
		2	最大桁数を超過している。
		3	置換文字列 {0} : 引数名 {1} : 最大桁数
		4	戻り値 (返却情報)
S1DSM3005E	エラー	1	{0}は{1}桁で設定してください。
		2	指定桁数と一致しない。
		3	置換文字列 {0} : 引数名 {1} : 指定桁数
		4	戻り値 (返却情報)
S1DSM3006E	エラー	1	{0}には半角数字を設定してください。
		2	半角数字以外が設定されている。
		3	置換文字列 {0} : 引数名
		4	戻り値 (返却情報)
S1DSM3007E	エラー	1	{0}には半角英数字を設定してください。
		2	半角英数字以外が設定されている。
		3	置換文字列 {0} : 引数名
		4	戻り値 (返却情報)

メッセージ ID	種類	内容	
S1DSM3008E	エラー	1	{0}に設定された「{1}」は、JIS2004 専用文字のため使用できません。
		2	Shift_JIS で表現できない文字が設定されている。
		3	置換文字列 {0} : 引数名 {1} : 不正な文字 (「、」で連結して全て表示)
		4	戻り値 (返却情報)
S1DSM3009E	エラー	1	{0}は存在しない日付です。
		2	存在しない日付が設定されている。
		3	置換文字列 {0} : 引数名
		4	戻り値 (返却情報)
S1DSM3011E	エラー	1	{0}が存在しません。 ・ {1}
		2	指定したファイルまたはディレクトリが存在しない。
		3	置換文字列 {0} : 引数名 {1} : ファイルまたはディレクトリパス
		4	戻り値 (返却情報)
S1DSM3012E	エラー	1	{0}が空ではありません。 ・ {1}
		2	引数の空ディレクトリ配下に、ファイルまたはディレクトリが存在する。
		3	置換文字列 {0} : 引数名 {1} : ディレクトリパス
		4	戻り値 (返却情報)
S1DSM3013E	エラー	1	{0}を読み込む権限がありません。 「{1}」配下に読み込み権限を与えてください。 または、権限があるユーザでログインし直し、再度実行してください。
		2	ファイルの読み込み権限がない。
		3	置換文字列 {0} : 引数名 {1} : ファイルが存在するディレクトリパス
		4	戻り値 (返却情報)

メッセージ ID	種類	内容	
S1DSM3014E	エラー	1	{0}の形式が正しくありません。 正しい形式（{1}）で設定してください。
		2	指定された正規表現に一致しない。
		3	置換文字列 {0}：引数名 {1}：正しい形式
		4	戻り値（返却情報）
S1DSM3016E	エラー	1	{0}の拡張子は[{1}]形式で設定してください。
		2	指定された拡張子に一致しない。
		3	置換文字列 {0}：引数名 {1}：正しい拡張子
		4	戻り値（返却情報）
S1MNM5C06E	エラー	1	取消依頼を行える回数が上限に達したため、取消依頼を行う ことができません。
		2	取消依頼が 10 回以上に行われた場合。
		3	—
		4	戻り値（返却情報）
S1MNM5C09E	エラー	1	対象の {0} が更新されています。 最新の情報を確認してください。
		2	クライアント側で指定した処理対象データが、サーバ側で更 新されていた場合。
		3	置換文字列 {0}：処理対象データ名
		4	戻り値（返却情報）
S1MNM5C10E	エラー	1	対象の {0} が削除されています。 最新の情報を確認してください。
		2	クライアント側で指定した処理対象データが、サーバ側に存 在しなかった場合。
		3	置換文字列 {0}：処理対象データ名
		4	戻り値（返却情報）

メッセージ ID	種類	内容	
S1MNM5C11E	エラー	1	請求情報を請求したユーザとログインしたユーザが異なります。 請求したユーザでログインしてください。
		2	ログインユーザ（代理人）と請求情報との関連が無かった場合。
		3	—
		4	戻り値（返却情報）
S1MNM5C12E	エラー	1	ログインしたユーザの請求先が、処理対象の請求先と異なります。 正しい請求先のユーザでログインしてください。
		2	ログインユーザ（代理人）の請求先都道府県番号と、連携された請求先都道府県番号が異なる場合。
		3	—
		4	戻り値（返却情報）
S1MNM5C13E	エラー	1	処理対象のデータ件数が、処理可能な最大件数を超えました。 最大件数：{0}
		2	リクエストデータが、サーバ側で設定した最大桁数（分割前）の2倍を超えた場合。
		3	置換文字列 {0}：最大件数
		4	戻り値（返却情報）
S1MNM5C14E	エラー	1	処理対象のデータ件数が、処理可能な最大件数を超えました。 データ件数：{0} 最大件数：{1}
		2	リクエストデータが、サーバ側で設定した最大件数を超えた場合。
		3	置換文字列 {0}：連携した件数 {1}：最大件数
		4	戻り値（返却情報）

メッセージ ID	種類	内容	
S1MNM5C26E	エラー	1	指定されたファイル名に該当するファイルが存在しません。 ファイル名を確認してください。
		2	クライアント側で指定したファイル名に該当するファイルが、サーバ側の所定の場所に存在しなかった場合。
		3	—
		4	戻り値（返却情報）

<通信に関するエラーメッセージ>

メッセージ ID	種類	内容	
S1DSM2001E	エラー	1	{0} できません。 インターネットに接続してください。
		2	オフライン状態。
		3	置換文字列 1 : 処理名
		4	ダイアログ表示、戻り値 (返却情報)
S1DSM2002E	エラー	1	コード : {0} ご迷惑をお掛けしています。 現在大変混み合っているか、メンテナンス中です。 しばらく経ってから、アクセスしてください。
		2	サーバが混雑しているか、メンテナンス中。
		3	置換文字列 1 : HTML 中に以下のいずれかが存在する場合は、該当する文字列 "ISF-IAP (SHINSEI)"、"ISF-IWS"、"ISF-IWH" いずれも存在しない場合は、"ISF"
		4	ダイアログ表示、戻り値 (返却情報)
S1GLM0015E	エラー	1	電子請求受付システムに接続できませんでした。 インターネットに接続されているか確認してください。
		2	ネットワークに接続されていない。
		3	—
		4	ダイアログ表示、戻り値 (返却情報)
S1GLM0016E	エラー	1	通信時にエラーが発生しました。 再度、{0} してください。
		2	サーバから想定外の値が返却された。
		3	置換文字列 {0} : 処理名
		4	ダイアログ表示、戻り値 (返却情報)
S1GLM0022E	エラー	1	プロキシ設定を取得できませんでした。 プロキシが正しく設定されているか確認してください。
		2	プロキシ設定が取得できない。
		3	—
		4	ダイアログ表示、戻り値 (返却情報)

メッセージ ID	種類	内容	
S1ACM0001E	エラー	1	通信時にエラーが発生しました。 現在、電子請求受付システムが混み合っている可能性があります。 しばらく時間をおいて、{0}してください。
		2	リクエストがタイムアウトした。
		3	置換文字列 {0} : 処理名
		4	ダイアログ表示、戻り値 (返却情報)

<ファイル I/O に関するエラーメッセージ>

メッセージ ID	種類	内容	
S1DSM1001E	エラー	1	ディスクの空き容量が不足しています。 不要なファイルを削除または移動し、ディスクの空き容量を 拡大してください。
		2	ディスクの空き容量が 100MB 以下になっていた場合に、ファ イルを書き込もうとした。
		3	—
		4	ダイアログ表示、戻り値 (返却情報)
S1DSM1002E	エラー	1	{0} を読み込む権限がありません。 「{1}」配下に読み込み権限を与えてください。 または、権限があるユーザでログインし直し、再度実行して ください。
		2	ファイルの読み込み権限がない。
		3	置換文字列 {0} : ファイル名 {1} : ファイルが存在するディレクトリパス
		4	ダイアログ表示、戻り値 (返却情報)

<システムエラーメッセージ>

メッセージ ID	種類	内容	
S1DSM0001E	エラー	1	(システムエラー) {0} {1}現象が解消されない場合は、請求ソフトのヘルプデスクにご連絡ください。 {2}
		2	プログラム構造または動作環境に問題があり、システムエラーが発生。
		3	置換文字列 {0} : エラー概要 {1} : エラーが解消する可能性のある操作 (通常は、"システムを再起動しても") {2} : エラー内容
		4	ダイアログ表示、戻り値 (返却情報)
S1CMM0016S	重度 エラー	1	システム異常が発生しました。 介護電子請求ヘルプデスクにご連絡ください。 障害管理番号 : XXXXXXXXXXXX-XXXX
		2	—
		3	—
		4	ダイアログ表示、戻り値 (返却情報)

付録. b ファイル仕様

ファイル名 : interface.xml

署名送信点検結果

No	項目名	属性	桁数	必須	内容
1	<インタフェース情報>	—	—		
2	<処理日時></処理日時>	数字	14	○	形式 : yyyyMMddHHmmss
3	<IF 種別コード></IF 種別コード>	数字	2	○	22: 受付点検結果 (N 系エラー)、 23: 受付点検結果 (G 系エラー)、 24: 受付点検結果 (様式エラー)、 25: 受付点検結果 (正常) (※1)
4	<電文種別></電文種別>	固定文字列	15	○	"Transmit Regist"
5	<事業所番号></事業所番号>	数字	10	○	受付点検が行われた事業所番号
6	<到達番号></到達番号>	数字	19	○	受付点検が行われた到達番号
7	<受付点検>	—	—		
8	<点検結果></点検結果>	文字列	可変		到達番号, 点検結果 (データファイル, データファイル名, 受付結果)
9	<エラーコード></エラーコード>	文字列	6		エラーコード (※2) (主に伝送システムでのチェックエラー情報)
10	<外部エラーコード></外部エラーコード>	文字列	可変		データファイル名, エラーコード (主に外部接続システムでのチェックエラー情報) (※3)
11	<様式エラー></様式エラー>	文字列	可変		データファイル名 (主に審査支払等システムの様式チェックエラー情報)
12	</受付点検>	—	—		
13	<添付ファイル>	—	—		

No	項目名	属性	桁数	必須	内容
14	<ファイル名></ファイル名>	文字列	10		エラー情報ファイル名 : CsvErr.txt (※4)
15	<ファイル名></ファイル名>	文字列	16		拡張情報ファイル名 : Transmitinfo.txt (※4) (※5) (※6)
16	</添付ファイル>	—	—		
17	</インタフェース情報>	—	—		

署名送信取消結果

No	項目名	属性	桁数	必須	内容
1	<インタフェース情報>	—	—		
2	<処理日時></処理日時>	数字	14	○	形式 : yyyyMMddHHmmss
3	<IF 種別コード></IF 種別コード>	数字	2	○	32: 取消結果(エラー)、 33: 取消結果(正常) (※1)
4	<電文種別></電文種別>	固定文字列	15	○	“Transmit DeleteRegist”
5	<事業所番号></事業所番号>	数字	10	○	取消結果対象の事業所番号
6	<到達番号></到達番号>	数字	19	○	取消結果対象の到達番号
7	<取消対象到達番号></取消対象到達番号>	数字	19	○	取消対象の到達番号
8	<エラーコード></エラーコード>	文字列	6		エラーコード (※2)
9	</インタフェース情報>	—	—		

通知文書ファイルダウンロード

No	項目名	属性	桁数	必須	内容
1	<インタフェース情報>	—	—		
2	<処理日時></処理日時>	数字	14	○	形式 : yyyyMMddHHmmss
3	<IF 種別コード></IF 種別コード>	数字	2	○	51: 返戻通知 53: 支払通知 (※1)
4	<電文種別></電文種別>	固定文字列	15	○	“Transmit Result”
5	<事業所番号></事業所番号>	数字	10	○	返戻通知対象の事業所番号
6	<審査年月></審査年月>	数字	6	○	形式 : yyyyMM
7	<添付ファイル>	—	—		
8	<ファイル名></ファイル名>	文字列	可変長	—	交換情報ファイル名、ファイル名タグは複数指定可 最大桁数 : 24
9	</添付ファイル>	—	—		
10	</インタフェース情報>	—	—		

※1 IF 種別コードの詳細は、「付録. c IF 種別コード一覧」を参照。

※2 エラーコードの詳細は、「付録. f 伝送システムのエラーコード一覧」を参照。

※3 外部エラーコードの詳細は、「付録. g 外部接続システムのエラーコード一覧」を参照。

※4 添付ファイルの詳細は、「付録. d 拡張ファイル」を参照。

※5 拡張情報ファイルの返却例は、「付録. h 拡張情報の返却例」を参照。

※6 拡張情報ファイルのデータ定義例は、「付録. i 拡張情報のデータ定義例」を参照。

付録. c IF 種別コード一覧

No	IF 種別名	IF 種別コード	内容
1	署名送信点検結果	22	事業所から送信された請求情報に対する受付結果情報 N系（伝送）エラー
2		23	事業所から送信された請求情報に対する受付結果情報 G系（外部）エラー
3		24	事業所から送信された請求情報に対する受付結果情報 様式エラー
4		25	事業所から送信された請求情報に対する受付結果情報 正常
5	署名送信取消結果	32	事業所から送信された請求情報に対する受付結果情報 取消 NG
6		33	事業所から送信された請求情報に対する受付結果情報 取消正常
7	通知文書ファイル	51	国保連合会から送信された返戻通知情報
8	ダウンロード	53	国保連合会から送信された支払通知情報

付録. d 拡張ファイル

ファイル名 : CsvErr.txt

No	項目名	内容
1	データファイル名	エラーのデータファイル名を設定
2	エラー行番号	エラー行番号は、送信されたファイル自体の先頭よりのレコード番号である。 コントロールレコードがファイルの第一レコードにあるが、このレコードが先頭レコード（行番号=1）になる。
3	エラー項目番号	エラー項目番号はデータレコードのデータ項目の番号である。 ※データレコードはインタフェース仕様書共通編参照
4	エラーコード	英数字4桁で審査エラーコードを設定。
5	エラー内容	日本語で審査エラー内容を設定。

ファイル名 : Transmitinfo.txt (※1)

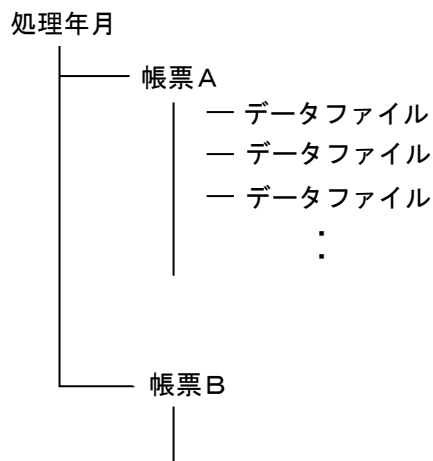
No	項目名	内容
1	エラーデータファイル名	エラーのデータファイル名を設定
2	交換情報識別番号	交換情報識別番号を設定
3	事業所番号	事業所番号を設定
4	証記載保険者番号	証記載保険者番号を設定
5	被保険者番号	被保険者番号を設定
6	サービス提供年月	サービス提供年月を設定
7	サービス種類	サービス種類を設定
8	項目名	エラー項目名を設定
9	項目値	エラー項目値を設定

No	項目名	内容
10	エラーコード	英数字4桁で審査エラーコードを設定
11	エラー内容	日本語で審査エラー内容を設定

※1 Transmitinfo.txt の拡張情報ファイル返却例、及びデータ定義例は「付録. h 拡張情報ファイルの返却例」、「付録. i 拡張情報ファイルのデータ定義例」を参照。

付録. e ファイル階層図

- ・サーバから送られる交換情報は、以下の構成で送られる。



- ・交換情報のデータファイルの命名規則は以下の通りである。
データ種別（3桁） + 順次番号（5桁）.csv ※1

- ・処理年月は入力データのコントロールレコード中の処理対象年月フィールドの値とする。

※1 データ種別に関しては、「インタフェース仕様書 共通編」1. 6 データ種別一覧を参照。

付録. f 伝送システムのエラーコード一覧

エラーコード (6桁)	エラー内容
N10212	データ取り消し電文で到達番号の事業者と取消対象到達番号の事業者は同じでなければなりません。
N30103	データ送信電文の拡張子を除く添付ファイル名の桁数が規定桁(半角8桁)を超えています。
N30105	データ送信電文の添付ファイルサイズが0バイトです。
N30201	データ取り消し電文に添付ファイルが設定されています。
N30107	データ送信電文の時、既に同じ添付ファイル名が存在します。
N30108	添付ファイル名に使用できない文字が存在します。
N40101	送付元事業所が台帳データベースに登録されていません。
N31106	Interface.xml ファイルの<添付ファイル名>タグ数と添付ファイル数が違います。
N40103	データ取り消し電文の取消対象到達番号に該当するデータ送信情報がデータベースに登録されていません。(削除する該当のデータ送信電文がない)
N30109	データ送信電文の添付ファイルの拡張子が” CSV”ではありません。

付録. g 外部接続システムのエラーコード一覧

エラーコード (6桁)	エラー内容
G00101	レコード種別の桁数に誤りがあります。
G00102	レコード種別に全角文字が使用されています。
G00103	レコード種別が数字ではありません。
G00104	レコード種別に誤りがあります。
G10201	コントロールレコードのレコード番号の桁数に誤りがあります。
G10202	コントロールレコードのレコード番号に全角文字が使用されています。
G10203	コントロールレコードのレコード番号が数字ではありません。
G10204	コントロールレコードのレコード番号に誤りがあります。
G10205	コントロールレコードのレコード番号が通番ではありません。
G10301	コントロールレコードのボリューム通番の桁数に誤りがあります。
G10302	コントロールレコードのボリューム通番に全角文字が使用されています。
G10303	コントロールレコードのボリューム通番が数字ではありません。
G10304	コントロールレコードのボリューム通番に誤りがあります。
G10401	コントロールレコードのレコード件数の桁数に誤りがあります。
G10402	コントロールレコードのレコード件数に全角文字が使用されています。
G10403	コントロールレコードのレコード件数が数字ではありません。
G10404	コントロールレコードのレコード件数に誤りがあります。
G10501	コントロールレコードのデータ種別の桁数に誤りがあります。
G10502	コントロールレコードのデータ種別に全角文字が使用されています。
G10503	コントロールレコードのデータ種別が数字ではありません。
G10504	コントロールレコードのデータ種別に誤りがあります。
G10601	コントロールレコードの福祉事務所特定番号の桁数に誤りがあります。
G10602	コントロールレコードの福祉事務所特定番号に全角文字が使用されています。
G10603	コントロールレコードの福祉事務所特定番号が数字ではありません。
G10604	コントロールレコードの福祉事務所特定番号に誤りがあります。
G10610	コントロールレコードの福祉事務所特定番号は存在しません。
G10701	コントロールレコードの保険者番号の桁数に誤りがあります。
G10702	コントロールレコードの保険者番号に全角文字が使用されています。
G10703	コントロールレコードの保険者番号が数字ではありません。

エラーコード (6桁)	エラー内容
G10704	コントロールレコードの保険者番号に誤りがあります。
G10710	コントロールレコードの保険者番号は存在しません。
G10801	コントロールレコードの事業所番号の桁数に誤りがあります。
G10802	コントロールレコードの事業所番号に全角文字が使用されています。
G10803	コントロールレコードの事業所番号に規定英数字以外が入力されています。
G10804	コントロールレコードの事業所番号に誤りがあります。
G10810	コントロールレコードの事業所番号は存在しません。
G10901	コントロールレコードの都道府県番号の桁数に誤りがあります。
G10902	コントロールレコードの都道府県番号に全角文字が使用されています。
G10903	コントロールレコードの都道府県番号が数字ではありません。
G10904	コントロールレコードの都道府県番号に誤りがあります。
G10911	コントロールレコードの都道府県番号が自都道府県ではありません。
G11001	コントロールレコードの媒体区分の桁数に誤りがあります。
G11002	コントロールレコードの媒体区分に全角文字が使用されています。
G11003	コントロールレコードの媒体区分が数字ではありません。
G11004	コントロールレコードの媒体区分に誤りがあります。
G11101	コントロールレコードの処理対象年月の桁数に誤りがあります。
G11102	コントロールレコードの処理対象年月に全角文字が使用されています。
G11103	コントロールレコードの処理対象年月が数字ではありません。
G11104	コントロールレコードの処理対象年月に誤りがあります。(拡張機能の場合にチェックし返却)
G11201	コントロールレコードのファイル管理番号の桁数に誤りがあります。
G11202	コントロールレコードのファイル管理番号に全角文字が使用されています。
G11203	コントロールレコードのファイル管理番号が数字ではありません。
G11204	コントロールレコードのファイル管理番号に誤りがあります。
G15021	コントロールレコードの項目数に誤りがあります。
G20201	データレコードのレコード番号の桁数に誤りがあります。
G20202	データレコードのレコード番号に全角文字が使用されています。
G20203	データレコードのレコード番号が数字ではありません。
G20204	データレコードのレコード番号に誤りがあります。
G20205	データレコードのレコード番号が通番ではありません。

エラーコード (6桁)	エラー内容
G30201	エンドレコードのレコード番号の桁数に誤りがあります。
G30202	エンドレコードのレコード番号に全角文字が使用されています。
G30203	エンドレコードのレコード番号が数字ではありません。
G30204	エンドレコードのレコード番号に誤りがあります。
G30205	エンドレコードのレコード番号が通番ではありません。
G90201	事業者番号／保険者番号が指定されていません。
G90202	事業者番号／保険者番号の指定方法に誤りがあります。
G90203	レコード件数に誤りがあります。
G90204	エンドレコードが存在しません。
G90301	同一のファイルがすでに登録されています。
G90401	テスト機能での処理結果です。交換情報に様式エラーはありません。
G90402	テスト機能での処理結果です。交換情報に様式エラーが存在します。
G90901	レコード内に制御文字が設定されています。
G90921	レコード内の文字コードがUnicodeで作成されています。 交換情報はシフトJISコードで作成してください。
G90922	レコード内の文字コードがJISコードで作成されています。 交換情報はシフトJISコードで作成してください。
G99999	その他の外部接続チェックのエラーがあります。

エラーコードについては、従前の伝送システム仕様書をベースとしているため、福祉事務所特定番号、保険者番号、都道府県番号に関する内容もエラーコード一覧に含まれる。

付録. h 拡張情報ファイルの返却例

```
<?xml version=" 1.0" encoding=" Shift_JIS" ?>
<伝送情報>
  <受付>
    <受付情報>
      <受付データファイル名>TOKY0001.csv</受付データファイル名>
      <受付交換情報識別番号>711</受付交換情報識別番号>
      <全レコード件数>100</全レコード件数>
      <明細件数>10</明細件数>
    </受付情報>
  </受付>
  <エラー>
    <エラー情報>
      <エラーデータファイル名>TOKY001.csv</エラーデータファイル名>
      <交換情報識別番号>7131</交換情報識別番号>
      <事業所番号>3261390003</事業所番号>
      <証記載保険者番号>400186</証記載保険者番号>
      <被保険者番号> 0000000186</被保険者番号>
      <サービス提供年月>201504</サービス提供年月>
      <サービス種類>14</サービス種類>
      <項目名>事業所番号</項目名>
      <項目値>41</項目値>
      <エラーコード>ADDE</エラーコード>
      <エラー内容>一次: 自県内のサービス事業所からの請求ではありません</エラー内容>
    </エラー情報>
  </エラー>
</伝送情報>
```


拡張情報ファイルの返却項目と内容

受付情報	
タグ名	項目内容
受付データファイル名	データファイル名を設定
受付交換情報識別番号	データ種別を設定
全レコード件数	レコード件数を設定
明細件数	明細件数を設定 請求書、給付管理票、再審査申立書以外の場合は’ - ‘を設定

エラー情報	
タグ名	項目内容
エラーデータファイル名	データファイル名を設定
交換情報識別番号	交換情報識別番号を設定、項目値が識別できない場合は’ - ‘を設定
事業所番号	事業所番号を設定、項目値が識別できない場合は’ - ‘を設定
証記載保険者番号	証記載保険者番号を設定、項目値が識別できない場合は’ - ‘を設定
被保険者番号	被保険者番号を設定、項目値が識別できない場合は’ - ‘を設定
サービス提供年月	サービス提供年月を設定、項目値が識別できない場合は’ - ‘を設定
サービス種類	サービス種類を設定、項目値が識別できない場合は’ - ‘を設定
項目名	エラー項目名を設定、項目値が識別できない場合は’ - ‘を設定
項目値	エラー項目値を設定、項目値が識別できない場合は’ - ‘を設定
エラーコード	審査エラーコードを設定
エラー内容	日本語で審査エラー内容を設定

付録. i 拡張情報ファイルのデータ定義例

データ定義は DTD により定義されている。

```
<?xml version=" 1.0" encoding=" Shift_JIS" ?>
<!ELEMENT 伝送情報(受付,エラー?)>
  <!ELEMENT 受付(受付情報)>
    <!ELEMENT 受付情報(受付データファイル名+, 受付交換情報識別番号+, 全レコード件数
      +, 明細件数*)>
      <!ELEMENT 受付データファイル名 (#PCDATA)>
      <!ELEMENT 受付交換情報識別番号 (#PCDATA)>
      <!ELEMENT 全レコード件数 (#PCDATA)>
      <!ELEMENT 明細件数 (#PCDATA)>
    <!ELEMENT エラー(エラー情報?)>
      <!ELEMENT エラー情報(エラーデータファイル名*, 交換情報識別番号*, 事業所
        番号*, 証記載保険者番号*, 被保険者番号*, サービス提供年月*, サービス
        種類*, 項目名*, 項目値*, エラーコード*, エラー内容*)>
        <!ELEMENT エラーデータファイル名 (#PCDATA)>
        <!ELEMENT 交換情報識別番号 (#PCDATA)>
        <!ELEMENT 事業所番号 (#PCDATA)>
        <!ELEMENT 証記載保険者番号 (#PCDATA)>
        <!ELEMENT 被保険者番号 (#PCDATA)>
        <!ELEMENT サービス提供年月 (#PCDATA)>
        <!ELEMENT サービス種類 (#PCDATA)>
        <!ELEMENT 項目名 (#PCDATA)>
        <!ELEMENT 項目値 (#PCDATA)>
        <!ELEMENT エラーコード (#PCDATA)>
        <!ELEMENT エラー内容 (#PCDATA)>
```

付録. j サイレントモード

通常、伝送請求 API ライブラリの各処理は、ダイアログを表示しながら対話的な処理として進められる。

しかし、複数事業所の請求処理を行う場合などは、サイレントモードに切り替えることで、メッセージ等のダイアログの表示を抑止することができる。

I. 対象インターフェース一覧

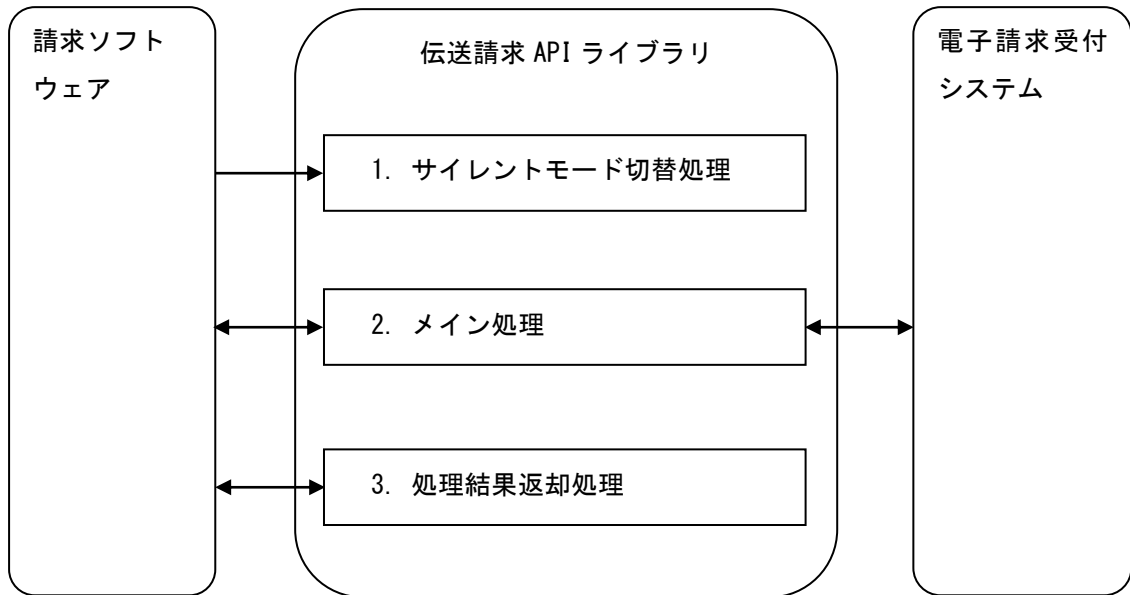
サイレントモードの対象となるインターフェースは以下の通り。

No	機能分類	機能名称
1	送信関連	署名送信
2		署名送信取消
3		署名送信ステータス取得
4		署名送信点検結果取得
5		署名送信取消結果取得
6	通知文書関連	通知文書一覧取得
7		通知文書ファイルダウンロード
8	お知らせ関連	お知らせ一覧取得
9		お知らせ既読情報更新
10		お知らせ添付ファイルダウンロード
11	マニュアル関連	マニュアル一覧取得
12		マニュアルファイルダウンロード
13	その他	復号

II. 処理概要

サイレントモードの処理を含んだ伝送請求 API ライブラリが、電子請求受付システムと連携する際の流れと、3つの処理の概要を以下に示す。

〈処理概要図〉



伝送請求 API ライブラリと電子請求受付システムの連携を行う際に、サイレントモードを使用する場合、(1)～(3)の処理を順に行う必要がある。

(1) サイレントモード切替処理

サイレントモードに切り替えることで、「(2)メイン処理」でのダイアログ表示を抑止する。

なお、「(2)メイン処理」をサイレントモードで行うには、当処理を毎回行う必要がある。

〈引数〉

No	項目名	型	属性	最小桁数	最大桁数	必須	内容
1	パスワード	String	英数字	8	16	○	電子請求受付システムにログインするユーザ ID のパスワード。※1

No	項目名	型	属性	最小桁数	最大桁数	必須	内容
2	警告発生時 継続フラグ	Boolean	—	—	—	○	警告発生時に処理を継続する場合は True。※2 (初期値は False)
3	Proxy 認証用 ユーザ ID	String	混在	—	16	※3	Proxy 認証用のユーザ ID。
4	Proxy 認証用 パスワード	String	混在	—	32	※3	Proxy 認証用のパスワード。

※1 「(2) メイン処理」で設定する引数のユーザ ID に一致するパスワードを設定する。

※2 「(2) メイン処理」において警告が発生した際に、処理を中断してエラー情報を返却する場合は False、そのまま処理を継続する場合は True。

※3 Proxy 認証が必要な事業所 PC で、Proxy 認証ダイアログの表示を抑止したい場合は、Proxy 認証用ユーザ ID と Proxy 認証用パスワードを設定する。

<戻り値>

なし

(2) メイン処理

「I. 対象インタフェース一覧」の該当機能の処理を行う。

インタフェースの詳細については、「3. 4 インタフェースの詳細」を参照。

(3) 処理結果返却処理

サイレントモードで「(2) メイン処理」を行うことにより、追加で発生する情報を返却する。

<引数>

なし

<戻り値>

No	項目名	型	最小桁数	最大桁数	内容
1	到達確認情報	Stream	—	—	署名送信時（サイレントモード未使用時）に表示される到達結果画面を、HTML 情報（※1）として返却。

※1 HTML 情報の内容（到達結果画面の項目）は、以下の通り。

到達確認画面

No	項目名	内容
1	メッセージ ID	処理結果が到達エラーの場合、メッセージ ID。 ※「3. 4. 1. 1 署名送信」の戻り値と同様の内容。
2	メッセージ	処理結果が到達エラーの場合、メッセージ。 ※「3. 4. 1. 1 署名送信」の戻り値と同様の内容。
3	到達番号	到達番号。 ※「3. 4. 1. 1 署名送信」の戻り値と同様の内容。
4	請求先国保連合会名	請求先の国保連合会名称。
5	到達日時	到達日時。 ※「3. 4. 1. 1 署名送信」の戻り値と同様の内容。
6	事業所番号	請求情報に設定されていた事業所番号。
7	請求年月	請求情報に設定されていた処理対象年月。
8	請求書類名	請求情報の名称。
9	件数	請求情報の件数。
10	お知らせ	請求ユーザに対し通知が必要なお知らせ。（※2）

※2 メッセージ ID に S1MNM5C73E が設定されている場合、統合インストーラバージョンアップ手順書を取得するための URL が記載される。